協会だより

3月度常務理事会

日時　3月16日(土)10：30～19：00
場所　日本青年館　304会議室
出席者　中澤専務、常務理事5名、監事、参事、各1名

1、ジャパンカップ関連事項について

(1)ジャパンカップ運営体制組織図について、運営本部の下に運営幹部会を設置することを提案することとなった。

(2)IHF役員他来日関係者の確認と対応に関わり、リストが示され、経費負担機関について、渡邊副会長が帰国後検討することとなった。

斎藤審判委員会副委員長が大会審判長となることが了承された。IHF公式試合と同様に2名の立会人を置くことが確認され、実行委員会と調整することとなった。タイムキーパーは国際審判員もしくは同等の資格を持つものを配置し、世界選手権に備える。スコアラーは熊本県協会に一任。

(3)AHF・COC会議について、開催計画案を作成後検討する。

ジャパンカップ大会終了後の、中国の国内転戦について報告された。

(4)PR及び集客について、ジャパンカップ観戦のための宿泊・航空券の案内を、各都道府県協会事務局、会長、理事長と賛助会員に送付したことが報告された。

2、世界選手権大会関連事項について

(1)各常務理事より提出された実施計画書平成7年度最終校正を基に、竹野常務理事がとりまとめ、熊本事務局に連絡。

(2)渡邊副会長が契約関連の最終交渉に渡欧していることが報告され、契約条項の概略について説明された。帰国後詳細を報告。

(3)世界選手権に向けての支援役員について検討。

(4)「日本協会の世界大会に向けての事業と役割」の担当者を指名。

スポーツ医学・ハンドボール国際学会の実施について、過去の開催経緯、経費について調査をする。回答によって計画を検討する。

(5)寄付金獲得に関する活動は企業関係、個人関係によって継続的に進めていくことが確認された。世界大会契約に関連し、IHFが日本協会に対し銀行残高保証の確認を求めていることの対策を検討中。

(6)JTBより、熊本大会の国内・外からの誘客及びPR活動のための「世界大会誘客対策企画書」の紹介説明があった。

(7)熊本大会テーマソングが、応募総数242点からテーマソング1点、応援歌1点が選出された。4月9日ジャパンカップで披露する。

(8)世界大会広報活動の一環として日本リーグプレーオフ時のTV放映CMについて提案があったが、改めて常務理事会で検討する。

(9)個人協賛金について、1万円の募金活動を了解した。

3、選手強化関連事項について

(1)全日本、B、ジュニア各チームの活動計画及びメンバーについて、継続審議。

(2)日本協会における医科学委員会の位置付けの確認・調整を含めて継続検討する。

医事、ドーピング等特別な技術のため西山委員長が実質担当し、役員の役割として大西常務理事が担当することを確認。

(3)平成8年度JOC専任コーチに田口隆氏、主任コーチに野田清常務理事を推薦することを承認。

4、平成8年度全日本総合選手権関連事項について

(1)男子16チーム、女子14チーム計30チームの出場枠を決定した。

	男子	女子
日本リーグ	10	9
全日本実業団連盟	1	1
全日本教職員連盟	1	1
全日本学生連盟	3	2
日本協会推薦	1	1
合計	16	14

(ジャパンオープントーナメント)

ジャパンオープントーナメントと他の連盟の大会に参加の場合先に権利を得た方を優先する。一方は上位より推薦する。

(2)主管問題について、東京都協会理事会検討後の回答を得てから検討する。

(3)IHFセレクションコース（案）について、日本人審判員から3から4ペア登用する計画案を報告。韓国で開催するコンチネンタルレフェリーコースの参加について了承。

(4)日本協会広告協賛等資金集めについて、機関誌を含め常に広告協賛により資金調達を要請した。

5、平成9年度全日本総合選手権関連事項について

大会期間、開催場所について、女子世界選手権が12月に開催の予定であることから、男子は東京開催、女子は地方開催が決定された。さらに東京体育館の申し込み期日が迫っていることから、早急に東京体育館、又は駒沢体育館の使用を検討決定することで了承。

6、東アジア競技大会について

2001年第3回東アジア競技大会の競技種目にハンドボールの参加意志を書類でJOCに対して提出する。また、3月24日に大阪協会役員と協議する予定が報告され、継続検討することとした。

7、アトランタオリンピック日本協会役員派遣について

大塚審判担当常務理事、井国際担当常務理事をアトランタへ、木野広報担当常務理事をヨーロッパ選手権に派遣することで了承した。

8、男女世界選手権大会ビデオテープ販売について

物品販売、または教材資料として活用するのか江成常務理事が対応。

9、公的指導者資格の義務付けについて

平成10年度より義務付けを確定したい旨説明があり、資格取得のための講習会を毎年開催する必要があるのではないかとの意見により、再検討することとなった。

10、平成8年度4回日韓中ジュニア交流について

長崎県で開催され、出場対象チームは単独のインターハイの男女優勝チームであるが、高体連の意向を確認することで了承。

11、平成8年度マスターズ大会について

マスターズ大会を日本協会主催の要望に対し、現在球界活性化が見直されているため、新規主催大会の承認は統一性をとる必要があることから見送られた。

5月の行事予定

第37回全日本実業団選手権大会（男女）	5月1～4日	熊本
全日本男子強化合宿	5月5～11日	熊本
全日本女子強化合宿	5月20～31日	熊本
常務理事会	5月11日	

外国籍選手の登録及び試合エントリーについての通達（確認）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成7年5月度常務理事会、同年6月度理事会、同年7月度常務理事会、同年11月度理事会、平成8年1月度常務理事会、平成8年2月度事務責任者連絡調整会議で審議決定、ご通知済みではありますが、年度当初にあたり再度確認の通達をいたしますので関係方面に周知徹底が図れますようご連絡よろしくお願い致します。

記

登録規定細則第2条を改正する。

（外国籍選手の試合エントリー）

第2条　本協会の大会に、外国籍選手が出場できる「試合エントリー」は、12名中2名までのエントリーとし、出場を認める。

尚、平成8年度に限り、中村荷役チームに限って、3名の「試合エントリー」を認める。

但し、コート上には2名まで出場できる。

※本件は日八発8第4号、4月4日付で各都道府県協会長・各ブロック理事長・各連盟会長・各日本リーグチーム部長あてに通達した。

第20回日本リーグ

男子　中村荷役2年連続のV

女子　オムロンは2年ぶり9回目の優勝

趙選手のジャンプパス

第20回日本リーグは昨年10月22日から男子1・2部がスタート。女子は世界選手権大会の関係から1月6日からゲームが開始された。

男子では、前期、中村が7勝1敗でトップ、これを湧永、大崎電気が追う展開。後期も中村が好調を維持、途中、大同、日新に引き分けもあったが、安定した力を発揮、早々とプレイオフ進出を決めた。プレイオフ進出をかけた2～3位の争いは最後までもつれ、湧永製薬と日新製鋼が決めた。大同特殊鋼、本田技研、大崎電気も奮闘したが、涙を飲んだ。プレイオフ準決勝は湧永が日新を分厚い攻撃で破ったものの、決勝は中村荷役が呉、趙らの活躍で一方的に湧永を破って2年連続優勝を飾った。

女子は、毎試合接戦が繰り広げられたが、オムロン、大崎電気、北国銀行が順当に勝っていて、このまま突っ走るかに見えたが、第1週、オムロン、大崎電気がつまずく波乱があり、北国以下大混戦、2部から昇格したブラザー、イズミらが奮戦、これにシャトレーゼ、日立、大和銀行も健闘、プレイオフ準決勝でオムロンがイズミのエース林をマンツーマンで防ぎ快勝。北国銀行が今の力では上と認められていたが、オムロンはイズミでの勝利でチームに勢いが戻り、ポスト張の秘策、新人・田村らの活躍を西村中心の防御で北国を振りきって2年ぶり9回目の優勝を飾った。

なお、入れ替え戦では男子は三陽商会が残留、女子では大和銀行に替わりジャスコが昇格した。MVPには男子、中村荷役・呉、女子、オムロン・張が受賞した。

男子

■プレイオフ・準決勝

湧永製薬27（13－10／14－9）19日新製鋼

【戦評】両チームとも前半は持ち味のコンビネーションプレーなどが出て一進一退のゲーム展開。また、GK、湧永・多田、日新・宇田川の攻守もゲームを盛り上げた。

後半も激しい攻防を繰り広げたが、湧永は酒巻のリードからポスト・杉山、堀田、また、河原、中山らが、ロング、カットインと加点、日新も必死に追いかけるものの肝心なところでパスミス、シュートミスが続出して自滅、ゲーム内容以上に意外な点差が開き、27－19で湧永が快勝、プレイオフ決勝進出を決めた。

■決勝

中村荷役27（14－7／13－9）16湧永製薬

【戦評】中村は立ち上がり呉の豪快な回り込んでのロングシュート、つづいて速攻からのカットインで快調なスタート。湧永の初得点は7分、堀田の右サイド。14分呉の退場の後すぐさま湧永は杉山のポストプレーで3－4と追っかける。しかしこの後、湧永は昨日の日新戦で見せた動いたプレーが見られない。頼みのエース中山のシュートも体勢が崩れ、苦し紛れのシュートがゴールの枠外へ。一方、中村は15分以降、10分間の間に木浪のロング、呉の速攻、ロング、趙の高い位置からシュート、林の粘りのポストと湧永の防御を翻弄。急遽交代したGK名手井藤もとれず、その後も中村は全員がよく動き、早いパス回しで攻める。つめが甘けれ

ばロングを確実に決めるなど中盤以降は呉の独壇場。湧永はパスミス、キャッチミスが傷口を広げた。
後半、どのような戦法で出てくるのか期待された湧永だったが、前半の動きそのまま攻撃は1人だけが動いて湧永らしいソツのないプレーが見られずじまい。それだけ中村の防御は固かった。特にトップDFの呉が湧永のパスコースを完全に遮断、攻撃、防御とも大きく運動量と気迫で上回った中村の完璧な勝利。中村は日本リーグの2連覇を飾った。また、MVPはこの日11得点の大活躍した中村の呉龍基が受賞した。

パワーアップとケガ予防で成果を

中村荷役監督　松本　勇

第20回日本ハンドボールリーグに於いて2連覇を達成することができ本当に嬉しく思っています。
今期リーグはまさに2連覇達成を目標に掲げ達成の為の具体策として筋力トレーニングの導入により選手個々のパワーアップとケガの予防を柱にチーム作りをすすめてきました。結果として実質的な数値としてのパワーアップはもとよりメンタルな部分にも大きなプラス要因となり、特にディフェンス面に於いて、予想以上の成果が上がり、優勝への大きな勝因となりました。
チーム全体としては、各人が昨シーズンの倍以上の努力をしていくことを全員で認識し、一人一人が自覚したことでチームがひとつになったことも大きな勝因だと考えます。
昨シーズンと違ってリーグ1位で迎えたプレーオフでしたが、勝って当たり前というプレッシャーにも負けず、今期最高の内容で優勝できたことは、名実ともにチャンピオンチームになったと実感しております。
これも偏えに大学、高校並びに各協会の関係各位のご声援並びにご支援の賜ものと心より感謝致します。また、来期も多くのハンドボールファンに感動を与えられます様、頑張る所存ですので、今後ともご声援、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

女子

■準決勝

オムロン25（11−7 / 14−5）12イズミ

[戦評]後期、今一歩波に乗れず苦しんだオムロンと勢いある新参イズミの対戦で熱戦が期待されたが、立ち上がりオムロンはイズミのコントロールタワーで得点源の世界のMVP林五卿にマンツーマン。イズミはこれで林にボールが回らず、攻撃も単調でわずかに美、本間の個人プレーに頼るのみ。一方オムロンは後期の不調がウソのようにGK王、防御の要・西村を中心に固い守りでイズミの攻撃をシャットアウト。攻撃でも田中、ルーキー田村、浜田、ポストの張らが面白いように得点、久々に20点以上取っての快勝だった。

■決勝

オムロン20（11−9 / 9−9）18北国銀行

[戦評]日本リーグ初の外国人レフェリー（ノルウェー）でスタート、北国は立ち上がり好調で速攻、ポストで得点6−3とリード、オムロンは2本の7mスローをはずすなどリズムに乗れない。23分すぎ9−7とリードを奪われていたオムロンは、サイドの古田、新人・浜田のサイド、吉田のポスト、田村の7mでリードを奪う。
後半、両チームともあせりからかチャージ、オーバーステップなどの反則で膠着状態。中盤、北国にリズムが戻り、松下の速攻、大林のカットインと右45度の回り込んでの得点、20分に同点、がぜん白熱した決勝戦になる。この緊迫したなか、オムロン新人田村の真ん中からのロングでチームに勢いが出て、田中のステップ、右サイドから古田、ポスト張がダメ押し。北国は28分に上でが7mの失敗、期待の田中のロングが不調が響いた。
両チームとも早い攻守で決勝戦にふさわしくGKの活躍もゲームを引き締めた。オムロンは攻撃では新人田村の切れと度胸のいいプレー、古田、浜田の両サイド、ポストの長身・張とのコンビプレー、防御では主将・西村らが全員をよくまとめたのが大きく、過去優勝経験に勝るオムロンに一日の長があった。これでオムロンは9度目の優勝。MVPには好守で大活躍した張泓が選ばれた。

張選手のシュート

最後までチャレンジする姿勢で

オムロン監督　西窪勝広

第20回日本リーグプレイオフに出場するまでの道程の長かった事。
短期決戦のこのリーグ、大きな怪我人がでたら、大変厳しいシーズンになる。その為にも怪我人がでない事を願いつつリーグ戦に突入しました。
前期リーグ戦では、毎試合苦戦しながらも2位で折り返し、そして後期戦、後1勝でプレイオフ出場権獲得という矢先に恐れていた怪我人が主力選手に続出し、不安とあせりで3勝1分け3敗という結果で、最終戦までの残り4試合は1分3敗とほんとうに苦しい戦いでした。
しかし、主力選手の穴を、勝負には敗れましたが、若手が良く踏んばってくれ、プレイオフ出場の切符を獲得してくれた事は大きな収穫でもありました。
プレイオフの舞台は、私達に再度大きなチャンスを与えてくれた大会、「チャレンジャー。気持ちで」を合言葉に練習に臨みました。
プレイオフまで主力選手の怪我がどこまで回復するか、また失なわれつつあった選手たちの自信をどこまで回復させるかが、プレイオフまでの大きな課題でもありました。
怪我人はチームドクターにすべてを任せ、チームは忘れかけていた基本プレイを中心にパス・キャッチから徹底した基礎トレーニングメニューと大変苦しかったと思いますが、よくチームの課題を理解し乗り切ってくれた事が自信回復につながったと思いますし、それ以上に、怪我人が順調に回復し、全員でプレイオフに臨めた事がなによりも大きな喜びでもありました。
プレイオフの2試合、選手個々が自分の役割を十分発揮してくれ、チームの課題であった失点20点以下を成し遂げてくれた事が優勝という結果に結び付いたと感謝しています。
与えられたチャンスをあきらめる事なく、最後の最後までチャレンジする姿勢を忘れてはいけない事を痛感させられたシーズンでもありました。
各会場で数多くの応援をいただいた皆様にこの場をおかりしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

堀田敬章

源内利之

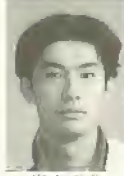
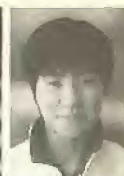
呉　龍基選手

第20回日本ハンドボールリーグ
個人表彰一覧表

最高殊勲選手賞

男子　呉　龍基（中村荷役）　　女子　張　泓（オムロン）

最優秀監督賞

男子　松本　勇（中村荷役）　　女子　西窪　勝広（オムロン）

張　泓選手

松下由紀子

田島佳子

	男子一部	女子一部
得点王	岩本　真典（三陽商会）　105点	田中美音子（大和銀行）　126点
	趙　範衍（中村荷役）　105点	
フィールド得点賞	呉　龍基（中村荷役）　97点	田中美音子（大和銀行）　83点
		山川　由加（ブラザー工業）　83点
シュート率賞	堀田　敬章（湧永製薬）　0.705(67/95)	谷本　泉（北国銀行）　0.747(65/87)
７ｍスロー得点賞	末岡　政広（大同特殊鋼）　32点	田中美音子（大和銀行）　43点
７ｍスロー阻止賞	橋本　行弘（本田技研）　13本	小林ゆり子（イズミ）　19本
最優秀選手賞	趙　範衍（中村荷役）	谷本　泉（北国銀行）
最優秀新人賞	柴田　大介（大同特殊鋼）	田村　啓子（オムロン）
ベストセブン賞　GK	井上　耕一（中村荷役）	王　涛（オムロン）
サイド	堀田　敬章（湧永製薬）	松下由紀子（北国銀行）
	源内　利之（日新製鋼）	田島　佳子（ブラザー工業）
センター	趙　範衍（中村荷役）	谷本　泉（北国銀行）
	首藤　信一（大崎電気）	田中美音子（大和銀行）
フローター	岩本　真典（三陽商会）	田中美代子（北国銀行）
	中山　剛（湧永製薬）	林　五卿（イズミ）
ベストディフェンダー賞	呉　龍基（中村荷役）	西村　聖子（オムロン）
特別賞　通算700得点賞	西山　清（日新製鋼）	通算300得点賞
通算600得点賞	呉　龍基（中村荷役）	小松　晃子（シャトレーゼ）
	玉村　健次（湧永製薬）	田中美音子（大和銀行）
	首藤　信一（大崎電気）	谷本　泉（北国銀行）

趙　範衍

首藤信一

岩本真典

中山　剛

谷本　泉

田中美音子

田中美代子

林　五卿

王　涛

井上耕一

■男子入れ替え戦
男子2部本田技研熊本善戦及ばす

　男子2部、本田技研熊本が1回戦3点差でとめ2回戦が期待されたが、後半、三陽商会の厚い攻撃に大敗した。しかし次のチャンスをつくる善戦のゲームであった。

■女子入れ替え戦
ジャスコがうれしい1部昇格

　1部・2部の入れ替え戦でジャスコが大和銀行に2勝、うれしい1部復帰を果たした。第2戦の後半はシャープな動きで速攻が次々と決まり快勝した。

第20回日本ハンドボールリーグ報告

　第20回日本リーグは、昨年10月22日に開幕、日本全国で熱戦を繰り広げた後、今年3月30日プレーオフ男子決勝（東京）で幕を閉じました。無事終了できましたのも関係各位のご尽力の賜物と、この場をお借りして感謝申し上げます。

　結果はすでにご承知の通り、男子はリーグ戦1位の中村荷役が2年連続2回目、女子はリーグ戦2位のオムロンが、リーグ戦1位の北国銀行を逆転、2年ぶり9回目（史上最多）の栄冠に輝きました。

　男子の2位以下は、湧永製薬、日新製鋼、大崎電気、大同特殊鋼、本田技研、三陽商会、日本電装の順。

　女子は、北国銀行、イズミ、シャトレーゼ、大崎電気、日立栃木、大和銀行、ブラザー工業の順となりました。

　一方2部では、トヨタ車体が負けなしの1位、以下、本田技研熊本、三景、トヨタ自動車、北陸電力、トクヤマ、大阪ガス、豊田自動織機。女子は新加盟の立山アルミが1位、以下、ジャスコ、ソニー国分、ムネカタの順。

　来年度は、今年1部8位のチームは2部1位と自動入れ替えとなります。
また、1部7位と2部2位の入れ替え戦の結果、三陽商会は1部残留、ジャスコは2年ぶりの1部復帰となりました。

　なお、豊田自動織機はチーム事情から来年度の加盟を見送り、替わってアラコ九州（佐賀県）が新規加盟

第20回日本ハンドボールリーグ個人表彰一覧表

		男子二部	女子二部
最多得点賞		保科　秀和（トクヤマ）　95点	山形　雪子（ジャスコ）　94点
フィールド得点賞		横越　久樹（北陸電力）　90点	山形　雪子（ジャスコ）　84点
シュート率賞		久野　秀樹（三　景）　0.672(90/198)	山形　雪子（ジャスコ）　0.785(84/107)
7mスロー得点賞		保科　秀和（トクヤマ）　33点	長木　まみ（ソニー国分）　19点
7mスロー阻止賞		児丸　毅（豊田織機）　11本	松尾　香代（ジャスコ）　18本
新人賞		小寺　勝也（三　景）	松尾　香代（ジャスコ）
敢闘賞	GK	渡辺　修崇（トヨタ車体）	松尾　香代（ジャスコ）
	サイド	吉田　聡（トヨタ車体）	山形　雪子（ジャスコ）
		広田　憲保（トヨタ車体）	安山えい子（ソニー国分）
	センター	岡部　哲也（トヨタ車体）	土師　基子（ジャスコ）
		大中　明徳（本田熊本）	白　永蘭（立山アルミ）
	フローター	保科　秀和（トクヤマ）	柳　美貞（立山アルミ）
		大蔵　武義（トヨタ車体）	長木　まみ（ソニー国分）
ベストディフェンダー賞		小島　一志（トヨタ車体）	白　永蘭（立山アルミ）

となります。

また、20回記念行事の一環として、プレイオフ終了後、渋谷東武ホテルにて「20周年記念パーティー」を開催致しました。協賛企業、日本協会役員、各チーム役員など、総勢約150名が参集、表彰式や感謝状贈呈など、なごやかな雰囲気の中で、今昔話に花が咲きました。

今大会中からいくつかの特徴的な事柄をご紹介致します。

1、新規加盟チームの躍進

昨年新規加盟のイズミが1部初出場でプレイオフ進出、今年新規加盟の立山アルミが2部1位（来年の1部昇格）など、新チームの躍進が目立った大会でした。特に女子ではこの様なチームが増えることで、より活性化がはかれるものと大いに喜び、期待しています。

残念ながら女子は、過去20年間を振り返っても、加盟チーム数が12チームを越えることが一度もなく、来年も2部4チームのリーグ戦の開催となります。この変則開催を打破するべくいろいろ手は尽くしているのですが、なかなか思う様に行かないのが実情です。今後も女子の加盟チーム増が我々の課題であると認識しております。

2、ホーム&アウェイ完全実施

ホーム&アウェイについては、昨年の1部実施から今年は完全実施へとステップアップ致しました。これに関して、各方面から様々な問い合わせがあり、混乱を来しましたことは我々の不徳の致すところと反省しておりますが、この場で少し解説を加えさせて戴きたいと思います。

元々はリーグ戦の日程を編成する際、すべて一般公募としていたため、開催希望日が集中したり、対戦希望チームの移動スケジュールが組めなかったり、移動が非効率となるなど、スケジュール上の問題がありました。また、Jリーグに代表される様に、「チーム所属地域との密着によるファン拡大」に真剣に取り組まなければ、今後のハンドボール自体の発展はないと考えました。

さらに、これまでの各地方協会に「おんぶにだっこ」状態での日本リーグ開催では、近い将来破綻を来すという恐れがあり、各チームで日本リーグ開催のノウハウ習得と責任を持たせることが必要とも考えています。加盟チームのない道府県での開催をしないということでは決してありません。開催責任を加盟チームにし、各チームが観客動員から運営まで責任を持って自主的に活動することを目的としているのです。加盟チームのない道府県での開催を希望される場合については未だ検討中であり、ホーム&アウェイも試行錯誤の中で実施しているのが実情です。

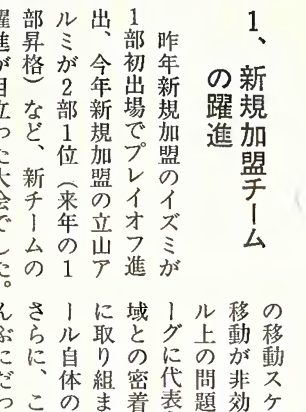
お気付きの点についてご意見、アドバイスを戴ければ、検討する上で加味して参ります。

3、プレイオフ

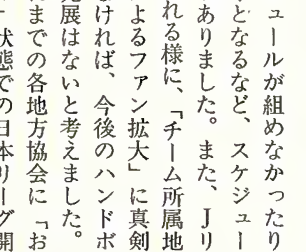
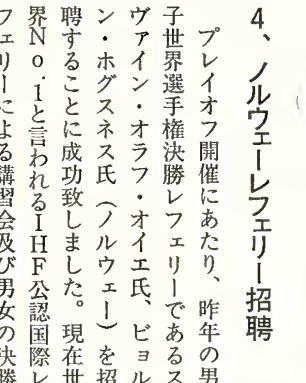
今年度で男子は4回目、女子は2回目となりました。運営委員会の中で何度も激論が交わされた中でのスタートでありましたが、過去を振り返って見ても、マスコミ対策という目的からすれば「成功」と考えております。特に今大会は、TVKテレビの尽力もあり、男女準決勝、決勝の4試合すべてをオンエアするという快挙を成し遂げました。ただし、ルール、運営、費用など課題があることも事実です。

今後も柔軟に対応し、より良い大会にしていきたいと考えております。

4、ノルウェーレフェリー招聘

プレイオフ開催にあたり、昨年の男子世界選手権決勝レフェリーであるスヴァイン・オラフ・オイエ氏、ビョルン・ホグスネス氏（ノルウェー）を招聘することに成功致しました。現在世界No.1と言われるIHF公認国際レフェリーによる講習会及び男女の決勝戦を実際に担当して戴き、「日本のレフェリー、選手のレベルアップに少しでも役立てば」との思いから、審判委員会の協力の元、実施致しました。

約50名が参加した講習会では、両氏が担当した男子世界選手権決勝のVTRを見た上で、質疑応答が行われ、レフェリーをする上で留意すべき点を目で確認して、本人の話を聞くことができ、非常に有意義でありました。

また、実際の決勝戦では、「試合の流れを生かす」「選手のことを常に気遣う」というポリシーを終始一貫している姿勢がひしひしと感じられ、自然に試合が進行しているとの印象を受けました。もちろん、明らかなミスジャッジもいくつかあったと思いますが、それを補って余りある満足感が観客、両チームのベンチにありました。後日談ですが、当該チームの某選手は、「判定に文句を言おうと思っても、試合が進んでいるため、文句を言う隙がなかった」と言っております。なぜそれほどまでに試合がスムーズに流れたか、多くの方にVTRなどで研究し、レベルアップに活用して戴きたいと思います。

日本リーグは、昭和51年（1976年）にスタートして20年、人間でいえば成人として一般社会人と公に認められる年齢です。しかし、ハンドボールは他の競技に比べ、解決すべき課題が

まだまだ山積しています。その中で日本リーグに関連することは当運営委員会が中心になって、積極的に取り組んで参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻を載きます様、お願い申し上げます。

日本ハンドボールリーグ20周年記念パーティーを終えて

3月30日、東京体育館で行われた第4回プレーオフ(男子決勝)終了後、会場を渋谷東武ホテルに移し、『日本ハンドボールリーグ20周年記念パーティー』が催されました。会場には日本協会役員をはじめ各連盟・チーム役員・報道関係者そして今回のリーグを盛り上げてくれた各個人賞受賞者の選手も含め総勢150名が一堂に介し、20年の節目を祝った。パーティー会場に貼り出された歴代のポスターには昔懐かしい名プレーヤー達の勇姿が刻まれており、改めて時の流れを感じさせる。

渡邊佳英(大崎電気)日本協会副会長の挨拶、草井由博(湧永製薬)全日本実業団連盟会長の乾杯の後、生前日本ハンドボール界の発展のためにご尽力いただいた故湧永儀助(湧永製薬)全日本実業団連盟顧問、故立石孝雄(オムロン)日本協会副会長両氏のご遺族に日本協会より感謝状と記念品が贈呈されました。

また、今回は初の試みである外国人レフェリーペアをプレーオフに招聘した。2日間に渡り男女各決勝をジャッジしていただいた、世界でNo.1と言われるスヴァイン・オラフ・オイエ氏、ビョルン・ホグスネス氏(ノルウェー)そして全日本新監督のオーレ・オルソン氏も出席、一昔前には想像もできなかったハンドボールの国際化がますます急速化してきている。集まった面々は昔話もさる事ながら、97年に開催される『男子世界ハンドボール大会・熊本』の話題になると一層夢も膨らみます。

特訓功労賞を受ける故湧永儀助氏、故立石孝雄氏の遺族

手探りで歩んで来た20年、多くの皆さんのご理解の賜と厚く感謝申し上げるとともに、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

なお当日はリーグ個人賞の表彰と左表の方々へ、これまでの長年のご尽力に対し日本リーグ運営委員会山下泉委員長より感謝状と記念品が贈呈されました。

日本ハンドボールリーグ20周年記念表彰者一覧

1.協力企業

1)エプソン販売株式会社
2)株式会社アシックス
3)株式会社モルテン
4)株式会社スポーツイベント

2.個　人

1)西村　亮治(大同特殊鋼株式会社)　歴代運営委員長
2)殿水　幸雄(株式会社アプラス)　歴代運営委員長
3)清水　雅子　元事務局担当

3.都府県協会

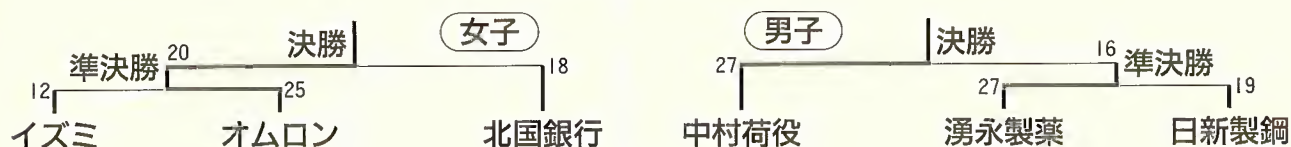
［協会］

20回開催…三重県ハンドボール協会
京都府ハンドボール協会
大阪府ハンドボール協会
19回開催…栃木県ハンドボール協会
愛知県ハンドボール協会
広島県ハンドボール協会
熊本県ハンドボール協会
18回開催…茨城県ハンドボール協会
兵庫県ハンドボール協会
17回開催…該当なし
16回開催…東京都ハンドボール協会
石川県ハンドボール協会
15回開催…富山県ハンドボール協会
埼玉県ハンドボール協会
山口県ハンドボール協会

［個人］

推薦協会	氏　名	役　職
岩手県	箱崎　敬吉	岩手県ハンドボール協会会長
〃	太田　利彦	〃　副会長
山形県	仁籐　清一	山形県ハンドボール協会会長
〃	奥山　重雄	〃　理事長
茨城県	吉地　正式	茨城県ハンドボール協会副会長
〃	小松　重夫	〃　副理事長
栃木県	山下　勝司	栃木県ハンドボール協会副会長
〃	高橋　隆夫	〃　理事長
千葉県	故浮谷　貞夫	千葉県ハンドボール協会前会長
〃	五味　崇恵	〃　副理事長
石川県	表　忍	石川県ハンドボール協会常任理事
〃	大村　孝則	〃　参与
静岡県	細澤　覚	静岡県ハンドボール協会副理事長
三重県	中根　武彦	三重県ハンドボール協会前理事長
〃	鈴木　義男	〃　理事長
大阪府	神田　清	大阪ハンドボール協会会長
〃	山田　稔	〃　副会長
兵庫県	三浦　和夫	兵庫県ハンドボール協会会長
〃	狩野　幸介	〃　会計監査
広島県	西元　義昭	広島県ハンドボール協会理事長
〃	山高　正彦	〃　常任理事
山口県	柳井　文治	山口県ハンドボール協会副会長
愛媛県	松原　久士	愛媛県ハンドボール協会理事
	(四国ブロック審判長)	
〃	野中　聡	愛媛県ハンドボール協会理事長
	(四国ハンドボール協会理事長)	
福岡県	森山　正治	福岡県ハンドボール協会理事(審判長)
大分県	一万田尚登	大分県ハンドボール協会事務局長
〃	石甲斐英三	〃　審判長

第20回日本リーグ1部成績表

プレイオフ結果

男子成績表

最終順位 チーム名	中村	大同	日新	湧永	三陽	大崎	本田	電装	勝	分	敗	ホーム アウェイ	勝点	得点	失点	ホーム アウェイ	差	リーグ順位
①	※	○22－19	○25－18	●24－26	○32－16	○24－17	○20－17	○34－23	11	2	1	5-1-1	24	351	276	183:146	75	1
中村荷役		△18－18	△26－26	○25－17	○22－20	○25－18	○23－19	○31－22				6-1-0				168:130		
⑤	●19－22	※	●21－26	○25－24	○28－21	○25－19	●19－26	○31－18	7	1	6	5-1-1	15	349	304	177:144	45	5
大同特殊鋼	△18－18		●24－28	●24－25	○25－19	●26－30	○26－16	○38－12				2-0-5				172:160		
③	●18－25	○26－21	※	△19－19	○28－25	●21－22	●18－25	○25－23	7	2	5	4-1-2	16	326	313	157:150	13	3
日新製鋼	△26－26	○28－24		●20－25	●19－20	○25－20	○25－22	○28－16				3-1-3				169:163		
②	○26－24	●24－25	△19－19	※	○20－19	△22－22	○26－19	○31－16	10	2	2	5-1-1	22	335	292	166:145	43	2
湧永製薬	●17－25	○25－24	○25－20		○20－19	○30－25	○20－16	○30－19				5-1-1				159:147		
⑦	●16－32	●21－28	●25－28	●19－20	※	●26－35	●19－22	○30－29	4	1	9	1-0-6	9	311	346	157:174	-35	7
三陽商会	●20－22	●19－25	○20－19	●19－20		△27－27	○21－17	○29－22				3-1-3				154:172		
④	●17－24	●19－25	○22－21	△22－22	○35－26	※	○22－16	○24－23	7	2	5	4-1-2	16	341	328	181:163	13	4
大崎電気	●18－25	○30－26	●20－25	●25－30	△27－27		○22－19	○38－19				3-1-3				160:165		
⑥	●17－20	○26－19	○25－18	●19－26	○22－19	●16－22	※	○34－12	5	0	9	3-0-4	10	291	288	154:132	3	6
本田技研	●19－23	●16－26	●22－25	●16－20	●17－21	●19－22		○23－15				2-0-5				137:156		
⑧	●23－34	●18－31	●23－25	●16－31	●29－30	●23－24	●12－34	※	0	0	14	0-0-7	0	269	426	137:207	-157	8
日本電装	●22－31	●12－38	●16－28	●19－30	●22－29	●19－38	●15－23					0-0-7				132:219		

女子成績表

最終順位 チーム名	大崎	オムロン	北国	日立	シャト	大和	イズミ	ブラザー	勝	分	敗	ホーム アウェイ	勝点	得点	失点	ホーム アウェイ	差	リーグ順位
⑤	※	●20－21	●24－27	○22－18	○26－25	○33－30	●28－29	●27－31	6	0	8	4-0-3	12	365	354	198:183	11	5
大崎電気		●21－26	●16－21	○36－22	●22－25	○32－26	●24－25	○34－28				2-0-4				167:171		
①	○21－20	※	●16－24	●19－26	○25－12	○23－18	○27－23	○28－21	8	1	5	4-1-2	17	314	292	155:143	22	2
オムロン	○26－21		●22－25	○20－16	●14－15	△23－23	●18－22	○32－26				4-0-3				159:149		
②	○27－24	○24－16	※	○18－16	○27－13	○32－31	○26－19	○28－24	13	1	0	7-0-0	27	369	310	177:153	59	1
北国銀行	○21－16	○25－22		○30－26	○27－25	○32－28	△28－28	○24－22				6-1-0				192:157		
⑥	●18－22	○26－19	●16－18	※	●19－27	●24－28	○33－20	○37－31	6	0	8	4-0-3	12	350	342	184:165	8	6
日立栃木	●22－36	●16－20	●26－30		○26－18	○26－24	●25－26	○36－23				2-0-5				166:177		
④	●25－26	●12－25	●13－27	○27－19	※	○24－22	○25－15	○29－22	7	0	7	4-0-3	14	304	319	143:157	-15	4
シャトレーゼ	○25－22	○15－14	●25－27	●18－26		●20－26	●19－24	○27－24				3-0-4				161:162		
⑦	●30－33	●18－23	●31－32	○28－24	●22－24	※	●23－32	○37－25	5	1	8	4-0-3	11	376	371	191:175	5	7
大和銀行	●26－32	△23－23	●28－32	●24－26	○26－20		○28－19	○32－26				1-1-5				185:196		
③	○29－28	●23－27	●19－26	●20－33	●15－25	●32－23	※	●26－29	7	1	6	4-1-2	15	337	357	182:180	-20	3
イ　ズ　ミ	○25－24	○22－18	△28－28	○26－25	○24－19	●19－28		○29－24				3-0-4				155:177		
⑧	○31－27	●21－28	●24－28	●31－37	●22－29	●25－37	○29－26	※	2	0	12	2-0-5	4	356	426	184:201	-70	8
ブラザー工業	●28－34	●26－32	●22－24	●23－36	●24－27	●26－32	●24－29					0-0-7				172:225		

上段は前期、下段は後期

第20回日本リーグ個人成績(男子)

中村荷役

背番号	氏名	個人得点合計 7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	個人ランキング 7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	林田庄司										
2	木浪達文			49	102	49	0.480		15	19	
3	西村英士			11	17	11	0.647		58	58	
4	天間正樹			3	6	3	0.500		81	81	
5	朴英大			18	28	18	0.643		48	50	
6	泉光介			6	12	6	0.500		72	75	
7	八尾康寛			25	52	25	0.481		40	40	
8	斉藤和明			14	17	14	0.824		53	53	
9	高木浩司			20	36	20	0.556		47	48	
10	鈴木良一										
11	呉龍基			97	203	97	0.478		1	3	7
12	井上耕一				1		0.000				
13	趙範衍	20	26	85	164	105	0.518	4	2	1	5
14	林一則			3	7	3	0.429		81	81	
15	中朋宏										
17	西村政樹										
19	宇佐美博史										
20	高木史彦										
	合計	20	26	331	645	351	0.513				

大同特殊鋼

背番号	氏名	個人得点合計 7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	個人ランキング 7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	秋吉哲男										
2	佐藤壮一郎			7	9	7	0.778		67	67	
3	阿萬隆文			2	2	2	1.000		90	90	
4	高村誠一			3	7	3	0.429		81	81	
5	荻本将勝			8	24	8	0.333		64	65	
6	植木寿憲			8	18	8	0.444		64	65	
7	冨本栄次			52	123	52	0.423		13	17	
8	藤井孝志			40	55	40	0.727		21	24	
9	林珍錫			63	144	63	0.438		7	10	9
10	末岡政広	32	37	51	96	83	0.531	1	14	5	
11	佐藤光夫										
12	林康一				1		0.000				
13	清水博之			1	2	1	0.500				
14	米倉巧			34	58	34	0.586		26	29	
15	阿比留竜也			1	1	1	1.000				
16	五谷哲郎										
17	松本光則	1	1	13	22	14	0.591		56	53	
18	柴田大介			31	65	31	0.477		31	33	
19	中谷友和			2	4	2	0.500		90	90	
20	南川裕隆										
	合計	33	38	316	631	349	0.501				

日新製鋼

背番号	氏名	個人得点合計 7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	個人ランキング 7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	篠原隆										
2	堀田幸夫	22	28	29	46	51	0.630	3	36	18	
3	武田大伸			10	28	10	0.357		60	60	
4	西山清	1	1	27	67	28	0.403		38	37	
5	鮎沢潤			10	22	10	0.455		60	60	
6	岡島真										
7	林昌英	4	4	35	104	39	0.337	12	23	25	
8	木村信祢			54	120	54	0.450		12	15	
9	水谷和嘉			31	64	31	0.484		31	33	
10	源内利之			48	90	48	0.533		18	20	
11	坂口俊幸			34	86	34	0.395		26	29	
12	原康司										
13	甲斐幸平										
14	野中宏洋			14	26	14	0.538		53	53	
15	宇田川竜也										
18	楠原誠吾			3	8	3	0.375		81	81	
19	伊藤豊			1	1	1	1.000				
20	嶌本信幸			3	5	3	0.600		81	81	
	合計	27	33	299	667	326	0.448				

湧永製薬

背番号	氏名	個人得点合計 7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	個人ランキング 7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	多田恵久										
2	松本暢			14	24	14	0.583		53	53	
3	河原隆雅			33	64	33	0.516		29	31	
4	玉村健次		1	27	76	27	0.355		38	39	
5	堀田敬章	1	2	67	95	68	0.705	16	6	8	1
6	山口修	1	2	6	12	7	0.500	16	72	67	
7	中山剛	20	28	70	137	90	0.511	4	4	4	6
8	長澤純平	2	2	5	11	7	0.455	14	76	67	
9	飯田一郎										
10	松谷丈裕										
11	高田浩志			17	25	17	0.680		52	52	
12	井藤英忠				1						
13	小沢勝利				1						
14	田中雅彦			22	27	22	0.815		43	44	
15	杉山裕一			32	40	32	0.800		30	32	
17	浜本忠志										
18	加川厚										
19	酒巻清治			18	42	18	0.429		48	50	
	合計	24	35	311	555	335	0.560				

第20回日本リーグ個人成績(男子)

三陽商会

背番号	氏名	個人得点合計						個人ランキング			
		7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	高橋克己										
2	五島宏隆	4	4	49	106	53	0.462	12	15	16	
3	飯嶋慶太			21	52	21	0.404		46	47	
4	長岡洋行			24	41	24	0.585		41	42	
5	大坪幸之助			7	13	7	0.538		67	67	
6	渡辺浩			22	41	22	0.537		43	44	
7	佐藤正和			4	5	4	0.800		79	79	
8	岩本真典	30	37	75	158	105	0.475	2	3	1	8
9	酒井浩史			1	2	1	0.500				
10	田中茂			42	95	42	0.442		20	22	
11	湯井隆之			6	8	6	0.750		72	75	
12	荒木進										
13	大村耕一			7	18	7	0.389		67	67	
14	濱川康一	1	1	18	33	19	0.545		48	49	
15	宇田川敏郎										
16	吉田修										
合計		35	42	276	572	311	0.483				

大崎電気

背番号	氏名	個人得点合計						個人ランキング			
		7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	工藤竜										
2	首藤信一			59	106	59	0.557		9	11	4
3	魚住和彦	11	11	55	146	66	0.377	8	11	9	
4	大橋則一			3	4	3	0.750		81	81	
5	森脇清										
6	山内聡			1	2	1	0.500				
7	小野優				2		0.000				
8	土屋幸司			57	92	57	0.620		10	14	3
9	森本彰宏	15	24	60	141	75	0.426	7	8	6	10
10	田中英二			7	10	7	0.700		67	67	
11	小野和正				1		0.000				
12	佐藤直博										
13	珍田貴博			3	6	3	0.500		81	81	
14	永山強	1	1	34	100	35	0.340		26	26	
15	横尾博明										
16	原田仁										
17	近藤恒俊			35	67	35	0.522		23	26	
18	伊藤誠										
19	秋山通雄										
20	袰主雅寿										
合計		27	36	314	677	341	0.464				

本田技研

背番号	氏名	個人得点合計						個人ランキング			
		7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	高木俊明										
2	弥吉圭一			35	65	35	0.538		23	26	
3	丹羽昭文	7	9	18	26	25	0.692	11	48	40	
4	後藤信幸										
5	満井健康			7	12	7	0.583		67	67	
6	長谷川貴洋			10	34	10	0.294		60	60	
7	谷村貴郎										
8	木下憲司										
9	梅基幸一			11	19	11	0.579		58	58	
10	井上寛政			24	43	24	0.558		41	42	
11	平松茂雄			31	62	31	0.500		31	33	
12	橋本行弘										
13	松原晋哉			48	113	48	0.425		18	20	
14	山村敏之	18	22	40	65	58	0.615	6	21	13	
15	中里賢二			1	4	1	0.250				
16	四方篤										
17	日原正和			28	42	28	0.667		37	37	
18	森岡健二			4	6	4	0.667		79	79	
19	加藤圭介	1	1	8	17	9	0.471		64	64	
合計		26	32	265	508	290	0.522				

日本電装

背番号	氏名	個人得点合計						個人ランキング			
		7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
2	山内茂樹	10	12	31	70	41	0.443	9	31	23	
3	橋本崇史			3	4	3	0.750		81	81	
4	竹下壮太			3	6	3	0.500		81	81	
6	久本直明				1	0	0.000				
7	武田宏樹			69	109	69	0.633		5	7	2
8	岸田秀文			5	11	5	0.455		76	78	
9	森迫正和		3	31	84	31	0.369	23	31	33	
10	井上英昭	2	2	5	13	7	0.385	14	76	67	
11	笠哲也			22	47	22	0.468		43	44	
12	井上博文										
13	近藤正也			13	35	13	0.371		56	57	
14	梅井文貴	10	18	49	119	59	0.412	9	15	11	
16	有村裕司										
17	城戸肖好			6	13	6	0.462		72	75	
18	宍戸雅幸			10	27	10	0.370		60	60	
合計		22	35	247	539	269	0.458				

第20回日本リーグ個人成績(女子)

大崎電気

背番号	氏名	個人得点合計 7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	個人ランキング 7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	今野清美										
2	川村純子	2	2	34	87	36	0.391	17	37	36	
3	永尾倫子			8	13	8	0.615		62	63	
4	杉原ゆかり			1	1	1	1.000				
5	佐々木愛										
6	広瀬喜代香	16	20	52	104	68	0.500	9	18	8	
7	畠中道代										
8	山口善子										
9	船津芽生子			10	30	10	0.333		56	57	
10	白仁淑	9	17	80	197	89	0.406	11	3	5	10
11	北村涼子			55	95	55	0.579		12	17	
12	後藤恵理										
13	尹秉順	3	3	58	113	61	0.513	16	11	14	5
14	佐々木順子				1		0.000				
16	金丸淳子										
17	千葉由佳			11	14	11	0.786		54	55	
18	結城香織			26	36	26	0.722		43	44	
	合計	30	44	335	690	365	0.486				

オムロン

背番号	氏名	個人得点合計 7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	個人ランキング 7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	城下雅美										
2	吉田早苗			11	13	11	0.846		54	55	
3	田村啓子	33	45	60	111	93	0.541	3	9	3	4
4	山田郁子										
5	石村智江			1	1	1	1.000				
6	吉田千明			30	64	30	0.469		40	42	
7	田中里美			50	126	50	0.397		23	24	
8	高橋さおり	7	11	30	87	37	0.345	13	40	34	
9	西村聖子			4	7	4	0.571		68	69	
10	鶴田京子			1	7	1	0.143				
11	田野実穂										
12	山口文子										
13	太田黒仁美										
14	飯山るり子										
15	川崎裕美			21	43	21	0.488		46	47	
16	王涛										
17	加島絵理	1	1	1	2	2	0.500			73	
18	隅幸恵		1	2	6	2	0.333		72	73	
19	浜田かおり	1	1	9	24	10	0.375		59	57	
20	張泓			52	79	52	0.658		18	22	
	合計	42	59	272	570	314	0.477				

北国銀行

背番号	氏名	個人得点合計 7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	個人ランキング 7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
2	上出恵美子	13	19	51	103	64	0.495	10	21	12	
3	田中由美子			1	3	1	0.333				
5	松山倫子			30	56	30	0.536		40	42	
6	益田明子										
7	大林まり			20	41	20	0.488		47	48	
8	安岐留美子				1		0.000				
9	後山智美										
10	松下由紀子			55	85	55	0.647		12	17	
11	山崎智美	1	1	35	92	36	0.380		35	36	
12	古澤さとこ										
13	和田津由子			4	11	4	0.364		66	67	
14	小松真理子			10	13	10	0.769		56	57	
15	谷本泉			65	87	65	0.747		5	10	1
16	沖園美穂										
17	田中美代子			67	159	67	0.421		4	9	8
18	松田るみ	17	26			17		8		49	
	合計	31	46	338	651	369	0.519				

日立栃木

背番号	氏名	個人得点合計 7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	個人ランキング 7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	坂本和美										
2	小宮望										
3	伊佐野実保			46	79	46	0.582		25	27	
4	桐谷律子			59	141	59	0.418		10	15	
5	佐藤和枝			5	7	5	0.714		67	68	
6	小柏智恵子	27	33	16	28	43	0.571	6	50	29	
7	呉欣			13	27	13	0.481		53	54	
8	鳴野幸子			6	8	6	0.750		64	65	
9	高野茂美			8	10	8	0.800		62	63	
10	松本恵美			50	142	50	0.352		23	24	
11	中村裕佳										
12	藤井裕子										
13	板谷貴子										
14	中山朋美			23	37	23	0.622		45	46	
15	沖土居真子	2	4	53	99	55	0.535	17	16	17	
17	王瑋			42	72	42	0.583		30	32	
	合計	29	37	321	650	350	0.494				

第20回日本リーグ個人成績(女子)

シャトレーゼ

背番号	氏名	個人得点合計						個人ランキング			
		7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	村山 みどり										
2	小松 晃子	35	46	44	115	79	0.383	2	27	7	
3	鶴田 知子		1	53	120	53	0.442		16	21	
4	李 京姫	4	5	43	104	47	0.413	14	28	26	
5	熊谷 裕子		1	33	77	33	0.429		38	40	
6	道端 希			9	19	9	0.474		59	61	
7	田中 雅美										
8	小林 喜代子			10	14	10	0.714		56	57	
9	合田 陽子			41	79	41	0.519		32	34	
10	北川 ひろみ										
11	加藤 由紀子			25	42	25	0.595		44	45	
12	為近 実花子										
13	林 奈央子										
14	佐藤 絹子			6	11	6	0.545		64	65	
15	奈良 美鈴										
16	菅谷 淳子			1	2	1	0.500				
合計		39	53	264	583	303	0.453				

大和銀行

背番号	氏名	個人得点合計						個人ランキング			
		7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	竹本 文										
2	山尾 陽子			36	102	36	0.353		33	36	
3	西口 貴子			15	33	15	0.455		52	53	
4	小俣 訓子			65	112	65	0.580		5	10	3
5	久保 幸江			43	91	43	0.473		28	29	
6	荒川 裕子			9	17	9	0.529		59	61	
7	碇 由美子										
8	石原 ひろみ			3	4	3	0.750		70	71	
9	竹田 ユリ			16	42	16	0.381		50	52	
10	藤浦 美絵			62	88	62	0.705		8	13	2
12	山下 美智子										
13	野村 奈美										
14	田中 美音子	43	51	83	185	126	0.449	1	1	1	6
15	星 智和			1	2	1	0.500				
18	榎本 円										
合計		43	51	333	676	376	0.493				

イズミ

背番号	氏名	個人得点合計						個人ランキング			
		7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	小林 ゆり子										
2	長久 直子			46	78	46	0.590		25	27	
3	藤澤 千恵美			36	92	36	0.391		33	36	
4	山本 由佳										
5	山田 浩美			2	6	2	0.333		72	73	
6	中島 美由紀										
7	林 五卿	28	35	64	133	92	0.481	5	7	4	5
8	中村 光子			17	29	17	0.586		48	49	
9	照喜名 美佳				1		0.000				
10	河本 千寿子	8	12	35	85	43	0.412	12	35	29	
11	本間 尚美	4	5	55	83	59	0.663	14	12	15	
12	片岡 和子										
13	姜 鐘璟			42	81	42	0.519		30	32	
14	柴田 ひろみ										
15	飯田 由紀子										
17	久門 明子										
合計		52	69	296	666	353	0.444				

ブラザー工業

背番号	氏名	個人得点合計						個人ランキング			
		7mスロー得点	7mスロー	フィールド得点	フィールドシュート	得点合計	フィールドシュート率	7mスロー得点賞	フィールド得点賞	得点王	シュート率
1	今内 知津子										
2	日比野 雅子	1	1	51	131	52	0.389		21	22	
3	野田 千香子										
4	牧 いずみ			3	7	3	0.429		70	71	
5	安田 文			17	24	17	0.708		48	49	
6	田島 佳子			55	84	55	0.655		12	17	
7	滝川 純子			1	1	1	1.000				
8	山本 こずえ			32	74	32	0.432		39	41	
9	川腰 享子										
10	森川 直子	30	38	52	131	82	0.397	4	18	6	
11	山川 由加	21	31	83	195	104	0.426	7	1	2	7
12	熊崎 由妃										
13	大道 貴子			2	2	2	1.000		72	73	
14	石森 裕美			2	13	2	0.154		72	73	
15	植田 和美				4		0.000				
17	兒丸 美由紀			6	8	6	0.750		64	65	
18	服部 留美										
19	白鳥 敏美										
20	羽出重 真紀										
合計		40	52	303	586	343	0.517				

ノルウェーからレフェリーを招いて

日本の審判の技術向上に貢献

3月26日より31日までの6日間、世界のトップレフェリーでありますノルウェーのMR. Svein Olav OieとMR. Bjorn Hogsnesが日本リーグプレーオフ男女決勝と講習会の講師として日本のハンドボール審判の技術向上に貢献していただきました。その中で感じたこと聞いたことを書かせていただきます。

3月28日は日本青年館にて全国の審判員約40人が集り講習会が行われました。最初に2人が吹いた男子世界選手権決勝のVTRを見て感想を述べてもらいました。

「私たちはこのVTRを見るのは初めてで、このような緊張する大舞台でいくつかのミスを犯していることは認める。しかし選手やコーチからクレームはつかなかったので良いレフェリングを出来たと確信している（実際1シーズンに国際試合30、国内の試合30を吹いているとの事）。審判で特に大切な事は、選手にどのようにプレーして欲しいかを知らせる事である。もしそのレベルより低い行為であれば注意、罰則を与える。また、試合中は常に選手とのコミュニケーションをはかり、笛を吹いていないときにでも選手とコンタクトをとり、注意などを与えている。」

次にOHPを使い、いくつかの注意点を上げてもらいました。

1。常に選手を助ける

2。最初の10分間でどのレベルで判定するかを選手に示す。

3。常に判定を下す時には100％の確信を持つ（自信がないときは選手の目を見られずに床を見てしまう）。そのためには、集中力と位置取りが大切である。

4。プレーを先読みし何が起こるかを予測する。選手の信頼を得るためには最初の反則に対して罰するべきである。

5。選手の心理状態を判断する。それは選手がルールに従おうとしているか、していないかの判断である。たとえば、シューターに対してディフェンスが手をかけた場合、そのディフェンスがボールに対してプレーしたのであれば7mスローだけであまり気にする必要はない。しかし、行為的に手にいったのであれば7mと警告、退場を付けるべきである。

以上、講習会での要点をまとめてみました。

その他、日本のレフェリーについていくつかの注意点をあげてもらいました。

●マンツーマンを行っているときゴールレフェリーがそれを見ることはできない。コートレフェリーは90％ボールを追いつつ10％はマンツーマンの状態を見ておかなければならない。けっして自分の後ろに選手をおいてはならない。

●演技者（アクター）に対しては注意を与え、レフェリングの協力を得られるようにしなければならない。

●何よりも審判に一番大切な事は、普段の生活から選手に対して注意できるような生活態度を心がける事である。

以上、要点のみを書かせてもらいましたが、その他にも各試合の個別指導なども熱心にしていただき、日本の審判員の技術向上に力を注いでいただきました。

（第20回日本リーグ記事編集・日本ハンドボールリーグ運営委員会・山下委員長・菅田・内藤・羽田・渡邉）

'97男子世界ハンドボール選手権大会第3回組織委員会開催報告

第3回組織委員会は、4月2日(火)、東京大手町経団連会館にて行なわれた。

大会を1年余りに控えて急ピッチで各部門準備が進められているが、平成8年度より一部人事異動があり、新たに組織委員に就任した人が紹介された。

新委員および委員会メンバーは表1の通り。

また、会場地も現在建設中のドーム（屋内運動広場）を含め県内で5会場が報告され承認された。会場地は表2の通りである。

議題では組織委員の人事のほか平成7年度の事業経過報告、平成7年度収支見込み報告、平成8年度事業計画、平成8年度収支予算が審議されいずれも承認された。

大会の総経費（案）、また熊本事務局の人数が現在23名から4月1日付で45名とほぼ2倍の人数になり一層強化が図られた。大会推進局長には前田浩文氏が就任、長年事務局をリードしてきた勇局長代理が市に転任することになった。

そして、現在大会サポータークラブの会員を募集、現在3000人近くが応募し、関心の高さを示しているとの報告があった。

★報告事項として

ジャパンカップ'97大会要項について説明があり、TV中継を九州エリア全域に放送されることも報告された。また、大会のテーマソングが決定され、プレ大会時に音楽を流し表彰式を行なうことも報告され、テーマソングのデモテープが流されたが、覚えやすいリズム感のいい曲と評判がよかった。

CDも作成する計画があることも話された。

最後に組織委員会顧問で古橋廣之進(財)日本オリンピック委員会会長からこの何年間の日本のビック大会の経験をまじえた感動、失敗経験の話が披露された。経験談だけに大いに各委員もいちいちうなづいていた。

表1

1997年男子世界ハンドボール選手権大会組織委員会名簿（敬称略）

■名誉会長
斎藤英四郎（(財)日本ハンドボール協会名誉会長）
■名誉顧問
豊田章一郎（(社)経済団体連合会会長）
稲葉興作（日本商工会議所会頭）
根本二郎（日本経営者団体連盟会長）
牛尾治朗（(社)経済同友会代表幹事）
■顧問
○佐々木正峰（文部省体育局長）
○大塚清一郎（外務省文化交流部長）
○安西孝之（(財)日本体育協会会長）
古橋廣之進（(財)日本オリンピック委員会会長）
川合辰雄（九州・山口経済連合会会長）
■会長
米倉　功（(財)日本ハンドボール協会会長）
■副会長
福島譲二（熊本県知事）
三角保之（熊本市長）
渡邊佳英（(財)日本ハンドボール協会副会長）
■委員（五十音順）
荒木哲美（熊本市議会議長）、井　薫（(財)日本ハンドボール協会常務理事）、江成元伸（(財)日本ハンドボール協会常務理事）、太田　篤（(社)経済同友会副理事）、岡崎助一（文部省体育局競技スポーツ課長）、○沖田嘉典（八代市長）、川上信次郎（東京商工会議所理事、事務局長）、木野　実（(財)日本ハンドボール協会常務理事）、斎藤　詢（日本経済者団体連盟常務理事）、○杉森猛夫（熊本県議会議長）、竹野泰昭（(財)日本ハンドボール協会常務理事）、殿水幸雄（(財)日本ハンドボール協会常務理事）、○冨永清次（熊本県町村会会長）、戸村敏雄（(財)日本体育協会常務理事）、○長迫忠弘（山鹿市議会議長）、中澤重夫（(財)日本ハンドボール協会専務理事）、長野吉彰（九州・山口経済連合会副会長）、永野光哉（熊本日日新聞社社長）、○中原淳（山鹿市長）、○久枝譲治（外務省文化交流部文化第二課長）、○福田富雄（八代市議会議長）、八木祐四郎（(財)日本オリンピック委員会専務理事）、山下　泉（(財)日本ハンドボール協会常務理事）、與縄義昭（熊本県ハンドボール協会会長）、和田龍幸（(社)経済団体連合会常務理事）
■監事
大野金一（(財)日本ハンドボール協会監事）、河野延夫（熊本県出納長）、○岩本洋一（熊本市収入役）
*○を付した方々は、異動等により、新しく委員となられる方々です。

[表2]

世界ハンド大会の会場地について

1997年男子世界ハンドボール選手権大会は、全試合（80試合）を、熊本県の次の会場で実施することとする。

(1)会場地

【予選リーグ戦会場】
熊本市……屋内運動広場、県立総合体育館、熊本市総合体育館から1日2会場で開催。
山鹿市……山鹿市総合体育館
八代市……八代市総合体育館

【決勝トーナメント戦会場】
熊本市……屋内運動広場、県立総合体育館、熊本市総合体育館から1日2会場で開催。

表2

施設名	屋内運動広場	県立体育館	市立体育館	山鹿体育館	八代体育館
観客収容数(合計)	10,000	4,000	3,000	2,000	2,500
客席	8,000	3,500	2,500	1,600	2,000
立見	2,000	500	500	400	500
メインアリーナ					
広さ	11950㎡	50.4m×35m	50.4m×38m	50.5m×36m	48m×36m
床材	タラフレックス	フローリング	フローリング	フローリング	フローリング
空調	×	○	×	○	○
照度(ルクス)	1500	1500	1500	1500	1500
サブアリーナー(広さ)	なし	43.9m×32.8m	35m×31m	35m×27m	36m×30m
選手等シャワー室数	4	6	6	2	2
熊本市(ホテル)からの時間	25分	8分	15分	55分	50分
その他	H9.8完成		空調は仮設	H9.8完成	

ソン全日本いいスタート切る
ツTSVフェルデンに快勝

シュートを放つ永山　強

全日本　22（10－6／12－11）17　TSVフェルデン

オルソン流の采配

オルソン新全日本の初ゲームがドイツ三部リーグ（レギオナル・リーグ）所属のTSV・フェルデンとの間で4月3日東京体育館にて午後6時から行なわれた。

全日本は3月11日から名古屋で新チームによる初の合宿を行ない、どんなゲームをみせるか注目された。

新調のユニフォームで登場の全日本は立ち上がり冨本らのカットイン。速攻などで一気に6点連取し幸先よくスタート。ほとんどの選手が3月30日まで日本リーグプレイオフを戦ってきただけに疲れがないかと心配されたが、そんな心配をよそに軽快に何よりもチームが生き生きプレーしているのが、観衆からも好感をもたれたようである。

前半22分にはフェルデンに退場者がでた時に全員マンツーマンシフトをひくなど、様々なケースにいろいろな選手の能力を試しているようである。

交代してベンチに戻ってきた選手には作戦盤をつかってきっちり説明したり、個人の役割を肩に手をかけたり、さとすように話しかけたりと、およそ日本人監督像とは大きなちがいがある。

また、防御でちょっとでも気を抜くとベンチから名前を呼んで、大きなジェスチャーで激励していた。

前半はもっと全日本が得点を重ねるかにみえたが結局10－6全日本リードで折り返す。

後半、フェルデンは旅の疲れもみせず全日本チームをなんとか苦しめ倒してやろうという気力溢れるプレーで13分には13－13と同点。このあたりから両チーム共がぜんエキサイト。

激しい攻防がつづき相手をしばしば突いたり、倒したりのプレーが多くみられた。しかし審判員山本、菅田ペアの冷静で適切な判断でいい流れのゲーム展開になる。

その後、末岡の7mスロー、いきのいいプレーをみせた永山の真中からのジャンプシュート。全日本にもどってきた魚住の豪快な左45度からのジャンプシュートと20分には17－14とリード。この間GK井上がノーマークを好補する大活躍。

一方フェルデンは9番左のヘルテらが反撃。

オルソン全日本は盛んにメンバーチェンジをしたり、ポジションを変えたり、相手が5人の時は全員マンツーマンなどを取り入れたり、いろいろトレーニングをしながらテストをくり返した。

ベンチはゴールをするたびに全員で大きな声をだしたり、とにかく元気があって気持ちいい。

20分すぎには冨本のロング、木浪の速攻、26分には魚住のロング、岩本から絶妙のパスがポストの永山にわたりゲット、22－17で快勝。オルソン全日本はいいスタートを切った。

フェルデンも前半の立ち上がりこそ失点があったもののドイツらしいブロックプレー、ピボットプレーなど随所に多様な攻撃を披露してくれ好印象を与えた。

また、この日チームと一緒に帰国した早大出身の市原が攻守にハッスルプレー。1年ぶり日本でその力強い雄姿をみせ観客から大きな拍手を受けた。

円陣を組んで気合を入れる全日本チーム

全日本の采配をふるうオルソン監督

勝ってなお厳しく

この日のゲーム終了後、オルソン監督は「初のゲームでみんな身体も頭も固い」「日本リーグと同じような感覚でプレーしている。タフなプレーがみられない」「もっと防御は激しくやらないとダメだ」と厳しく言っていた。

選手の動き、プレーの取り組みについて、まずはいいスタートが出来たことを素直に喜び、田口、酒巻両コーチ、選手共々、肩を組んで勝利を祝っていた。

前日のレセプションでも監督自らがそうであったように選手にもアルコールを一滴も飲ませなかった。

選手の健康管理と親善試合といえ勝負する選手の心構えと厳しさを一つ一つしかも確実に今オルソンイズムが浸透しはじめているといえよう。

勝負は1年先の世界選手権大会。それまでオルソン監督はどんどんいろんな戦術を備えこころみていくことだろう。（木野記）

第19回全国高校選抜大会

男子は伊奈(茨城)が初優勝
女子は名短付(愛知)が2年連続5回目の優勝

第19回全国高校選抜大会は3月24日から28日までの5日間、愛知県体育館を中心とした3会場で熱戦を展開した。男子の決勝は茨城県・伊奈と大分県・大分電波との間で争われ、伊奈が後半逆転して念願の初優勝を遂げた。女子の決勝は愛知県・名古屋短大付属と石川県・小松市立女子という古豪同士の対戦となったが、第2延長戦までもつれ込む大熱戦の末、名古屋短大付属が1点差で制し、2年連続5回目の優勝を飾った。

学校	代表	1回戦得点
横浜商工高校	(神奈川)	34
岡山県立岡山工業高校	(岡山・中国2位)	10
岡崎城西高校	(開催地・愛知)	12
京都府立洛北高校	(京都・近畿2位)	22
学校法人石川高校	(福島・東北1位)	22
駿台甲府高校	(山梨・関東4位)	7
沖縄県立那覇西高校	(沖縄・九州3位)	28
徳島県立三好農林高校	(徳島・四国1位)	12
國學院大学栃木高校	(栃木・関東1位)	18
清水市立商業高校	(静岡・東海2位)	13
北海道釧路北陽高校	(北北海道)	13
大分電波高校	(大分・九州1位)	33
浦和学院高校	(埼玉・関東3位)	30
秋田県立羽後高校	(秋田・東北3位)	21
北陸高校	(福井・北信越2位)	17
大阪市立都島工業高校	(大阪)	15
山口県立下関中央工業高校	(山口・中国1位)	18
茨城県立伊奈高校	(茨城・関東5位)	20
函館大学付属有斗高校	(南北海道)	18
岩手県立不来方高校	(岩手・東北2位)	25
明星高校	(東京)	22
宮崎県立都城工業高校	(宮崎・九州3位)	16
和歌山県立紀北農芸高校	(和歌山・近畿4位)	27
岐阜市立岐阜商業高校	(岐阜・東海1位)	29
名古屋市立桜台高校	(愛知)	14
奈良県立添上高校	(奈良・近畿3位)	11
愛媛県立松山工業高校	(愛媛・四国2位)	11
兵庫県立明石高校	(兵庫・近畿1位)	23
修道高校	(広島・中国3位)	9
久留米工業大学付属高校	(福岡・九州2位)	27
二松学舎大学付属沼南高校	(千葉・関東2位)	24
富山県立氷見高校	(富山・北信越1位)	25

2回戦: 19－15、24－12、13－23、17－18、25－15、24－19、21－15、14－22

準々決勝: 16－18、19－16、21－18、23－23

準決勝: 14－26、18－15

決勝: 18－22

男子決勝

伊奈 22 (14－8 / 8－10) 18 大分電波

得点	氏名	番号	番号	氏名	得点
大分電波			伊奈高校		
6	忠願寺	3	1	菊池	0
0	松本	4	2	石井	4
0	合澤	5	3	渡邊	8
5	松田	6	4	粕谷	1
2	安達	7	5	嶋	0
2	秦	8	6	沼尻	0
3	佐伯	9	7	小島	0
0	麻生	10	8	小菅	0
0	白原	11	9	菊池	0
0	姫野	12	10	山口	0
0	高崎	13	11	飯村	5
0	大井	14	12	地引	0
			13	鈴木	1
			14	太田	3
18	合計				22

[男子決勝戦評] ベテラン・冨松監督に挑む新鋭・滝川監督との戦いとなった決勝。先制点を伊奈・飯村がステップシュートで挙げると、大分は堅い守りから速攻、忠願寺へのポストへとボールをつなぎ、3連取でリズムをつかみ、前半、10－8の大分リードで折り返す。

後半に入ると伊奈は大分の7番をマンツーマン。パスの回らない大分に対して速攻、ロングで追う伊奈は、後半10分、飯村のポストで同点にし、太田、渡辺らのカットインで4連取、試合をひっくり返した。大分も果敢に反撃に出るが、伊奈の勢いを止めることができなかった。

名短付高のシュート

伊奈高のシュート

女子決勝

名短付 23		22 小松市女
8	前半	10
7	後半	5
1	延長前半	2
3	延長後半	2
1	第2延長前半	1
3	第2延長後半	2

小松市女 得点	氏名	番号	名短付 番号	氏名	得点
0	白崎	1	1	森田	0
4	道場	2	2	川添	1
0	村田	3	3	山田	10
11	鏡森	4	4	内倉	4
2	南山	5	5	石森	3
3	面	6	6	石ノ腰	1
2	中村	7	7	前橋	2
0	西田	8	8	青山	0
0	倉橋	9	9	三木	1
0	五十嵐	10	10	森岡	1
0	佐野	11	11	川瀬	0
0	宮川	12	12	安達	0
0	川口	13	13	加治木	0
0	竹崎	14			
22	合計				23

［女子決勝戦評］前半開始1分、小松市女2番・道場がポストシュートを決め先制、はじめは小松のペースであったが、名短付3番・山田の7m、ミドルなどで食い下がり、一進一退の攻防で前半は10－8と小松市女の2点リードで終わった。後半に入り、開始3分に名短付・山田、4分に小松市女4番・鏡森のロングが決まり、その後も一進一退の攻防が続くが、後半22、23分に小松市女の7m、速攻が決まり、2点差となってここで勝負あったかに思われたが、ここから名短付が4番・内倉のロング、5番・石森のポストシュートと決め、終了間際に同点に追いつき延長戦に入る。

延長に入っても一進一退の攻防は続き、前半は2－1で小松市女がリード、後半3－2で名短付が追いつき第2延長までもつれ込む。

第2延長前半、小松市女、名短付ともに7mを決め、1－1で後半へ。後半に入り名短付は石森が速攻を決め、初めてリードを奪った。小松市女も鏡森のロングで追いつくが、名短付は内倉のロング、山田のミドルで連取し、23－22で大接戦を制した。

学校	所属	得点				
小松市立女子高校	(石川・北信越1位)	23	22–10	18–12	26–17	22–23
奈良県立添上高校	(奈良・近畿4位)	10				
佼成学園自余市高校	(東京)	20				
聖和学園高校	(宮城・東北3位)	15				
東海女子高校	(開催地・愛知)	15	13–22			
岡山県立倉敷中央高校	(岡山・中国2位)	9				
大分県立大分鶴崎高校	(大分・九州2位)	27				
群馬女子短大付属高校	(群馬・関東4位)	8				
昭和学院高校	(千葉・関東1位)	24	18–14	18–6		
山陽女子高校	(広島・中国3位)	16				
聖和女子学院高校	(長崎・九州3位)	15				
秋田県立大曲農業高校	(秋田・東北2位)	18				
暁高校	(三重・東海1位)	18	13–12			
北海道釧路湖陵高校	(北海道)	4				
香川県立高校松商業高校	(香川・四国2位)	8				
夙川学院高校	(兵庫・近畿1位)	21				
山口華陵高校	(山口・中国1位)	13	8–22	10–6	13–20	
清水市立商業高校	(静岡・東海2位)	22				
初芝橋本高校	(和歌山・近畿3位)	13				
神奈川県立川崎北高校	(神奈川)	15				
沖縄県立那覇西高校	(沖縄・九州1位)	11	20–13			
京都府立洛北高校	(京都・近畿2位)	14				
愛媛県立今治南高校	(愛媛・四国1位)	11				
茨城県立水海道第二高校	(茨城・関東2位)	13				
北海道函館中部高校	(北海道)	4	14–22	24–24		
山形県立北村山高校	(山形・東北1位)	37				
浦和実業学園高校	(埼玉・関東3位)	9				
四天王寺高校	(大阪)	27				
熊本県立松橋高校	(熊本・九州3位)	18	19–26			
國學院大学栃木高校	(栃木・関東5位)	11				
富山県立氷見高校	(富山・北信越2位)	15				
名古屋短期大学付属高校	(愛知)	25				

テーマソング選考を終えて 心の垣根を外して ひとつになるチャンスを探している…

総合プロデューサー 片山知子

どれもこれも一等賞

次から次に送られてくる歌詞やテープを、初めは、仕事と割り切り、無表情に「コレッ」と言った作品を求めて、聞いたり、見たりしておりました。ところが、どのテープも、本当に水準が高くて、

右が作曲のマイケル・ベンギアット、左が作詞のケリー・コールマン

ほとんどのものは、そのテープを創るのに、多分、10時間前後を費やしたと思うものが極めて多くて、当然、作詞、作曲されていかれた過程を考えると、1週間～4週間は費やしていると思われます。

始め作品の集まりが悪くて、心配されていた組織委員会の方に、きっと、今頃、皆、悩んでらっしゃるから、締切間近にどっと着きますよ…と、少々、内心心配しながらも、言っていたことが的中し過ぎました。まさか、こんなにも夢中に、創って頂いているなんて、思ってもいなかった… といえば、甚だ失礼ですが、正直な私の感想です。途中で、選考することも忘れて、応募された皆さんの熱意と、「楽しんで頂いたこと」に、感謝するようになりました。入選者をもって発表とすることになっておりましたが、ある夜、慌てて組織委員会にFAXを流し、何か残念賞は出せないものかと、相談を持ちかけました。

たかだかのお金では買えないものです。皆さんの熱意や創作作品に対して、何か記念になるものがあれば…と思いました。そうこうしているうちに、全ての作品に対して、若輩の私ですが、何か、コメントすることが出来れば…と、書き始めました。未だ、終っておりません。

そして、いよいよ最終選考会…。242作品から、10数点選びました。もうすでに選んだはずの作品ですのに、何度も、何度も、テープを出したり、入れたり、作詞をあれこれ眺めて、気が付けば、朝の5時になっておりました。正直に申し上げて、今回の「1997年男子世界ハンドボール選手権大会」というタイトルがなかったら、どれもこれも一等賞です。

いったい誰が、なんの権利をもって、人様が創ったクリエイティブな作品を、とかく言うことが出来るのでしょう!?「作詞家です…」と、ちょっと恥ずかしそうに言った女性が、こんな風に言えるのも、祖母のおかげですと話してくれました。「モノを創るということは、米を作るのと同じくらい大事なことだから」と、お婆様が教えてくれたそうです。また、別のミュージシャンである男性は、お爺様からこういわれたそうです。「ひとつの外国語と、ひとつの楽器が弾けたら、人生、楽しくなる」と…。

73歳の応募者さんは、今回もスカだろうけど、これで締め括りとすると、書かれておりました。テープを聞いてみると、とても73歳の方の演奏とは思えません。作曲もプロ級です。どうぞ締め括りにしないで、いついつまでも、音楽を楽しみ、機会があれば応募されますよう…。また、点字で応募された方も、いらっしゃいました。とても、すてきなテープと共に。有難うございました。

多かった和製ポップス

友達と楽しくそして真剣に、制作されているテープもたくさんありました。また、お婆様が作詞され、息子さんが、作曲演奏家を受け持たれ、その娘さん（お孫さん）が、コーラスをされているものもありました。おまけに、「親子三代楽しませてもらいました…」とメッセージつきで。

また、傾向的に分類すると、「マーチ系」、「ロック或はヒップポップ系」、そして「和製ポップス或はニューミュージック系」と大きく分類できます。最も多かったのが、和製ポップス系でした。

作詞に関して申し上げると、時代の流れでしょうか!?それとも、キャッチフレーズを取り入れることで、そのイメージに左右されたのかも知れませんが、「勝利を勝ち取ろう」という内容の詩は誠に少なく、「この大会でひとつになろう」と、いった意味のものが大変多く、考えさせられました。詩の内容から、世界の人たちが、本当に、人種の違いや余計なプライドや、心の垣根を外して、ひとつになるチャンスを探しているようにも感じました。

また、「その一瞬鳥になる」というフレーズは、ハンドボールでシュートするときのスカイプレイをイメージされておりました。ところが、詩の世界では、ほとんどの方の英語も日本語も、韓国語もイメージが「精神の高揚…精神が昇り詰めた」、その表現として、

「その一瞬鳥になる」とされていました。きっと、シュートのその瞬間、ハンドボールプレイヤーも、精神的に最も高揚しているときなのでしょうか!? 中には、ハッとするようなフレーズも沢山ありました。そして、最終選考会で、満場一致で選ばれたのが、アメリカの方の作品でした。

となりにいらっしゃった選考委員の方が、僕のような素人が、こんな場所に座っていて良いのかな…と心配されていました。私は申し上げました「こんなに沢山の作品の中から、今回の大会に合っていると、思える音楽を選べるなんて光栄ですね。誰一人として、人の作品に甲乙を付けれませんから…そんな心配しなくて良いです…」と。

清々しい徹夜の選曲

私はこの選曲で、3日の徹夜を余儀なくされました。でも、私の身体の中に残ったものは、清々しくて暖かい、ほのかな疲れでした。今、こうして思い出しながら、この文章を書いていても、何だか清々しくなってきます。

テーマ曲でこんなにも清々しくなれるのですから、本大会は、間違いなく成功するでしょう!!ボールもひとつ、地球もひとつ、皆がハンドボールという大会の中で、ひとつに溶けていくのが目に見えそうです。そして、皆が皆、その一瞬、鳥になるのだろうと思います。

最後に、私はこの「音楽という場」で、また、いつの日かどこかで、皆さんとご一緒できる日を、心より楽しみに致しております。

本当に、本当に、有難うございました。

そして、こんなすてきなチャンスを与えて下さいました、組織委員会の皆々様、関係各位に深く感謝の意を申し上げて、この文章を閉じさせて頂きます。

関係者のプロフィールとコメント

作曲・マイケル・ベンギアット

1963年アメリカ生まれ

作曲家、プロデューサー、そして音楽プロダクション「ミュージック・キッチン」オーナー

曲は2週間で出来た。とにかくスポーツのスピリットを伝えたかった。

ハンドボールのスピードと迫力ある攻防をみて感激した。こんな面白いスポーツがあるとは…。熊本はホームタウンの懐かしさを感じる。

作詞・ケリー・コールマン

1963年アメリカ・ロサンゼルス生まれ

シンガーソングランター

作詞は10～20分でつくった。世界から日本に集まってくる選手、観衆を励ますものにしたかった。また、世の中が暗い今だからとにかくポジティブな曲をつくりたかった。

ハンドボールは面白く、エキサイティングでした。

私のチームづくり

選手である前に人間であれ

国体優勝までの道程をふり返って

福島・郡山女子高校・現在福島西高校　佐藤雄次

選手たちよありがとう

自分は常日頃、玉（選手）さえ揃っていればいつでも勝てると豪語して、はばからぬところが少なからずあり、私を生意気な奴だと思う人もいたのではないかと今にして思う。しかし、心の中はそれとは裏腹に一度でいい、日本一になりたいなあという誰もが抱く夢を持つ一介の監督に過ぎない。

国体寸前まで「ベスト4めざして頑張りますから、これ以上期待しないで下さい」と公言していた。それなりに努力はしてきたが、正直その辺が妥当と思っていた。そして福島国体を優勝という望外の喜びで終わった時、あまりにもあっけなく生涯の夢を叶えたことに虚脱感を覚えた。

虚脱感から我に返ったとき、自分は選手たちに胴上げされていた。熱いものが込み上げてきて、これまでの選手たちの努力が自分の脳裏を駆け巡っているのを実感した。「自分の夢を叶えてくれた選手が、今自分を胴上げしてくれている。」

もちろん優勝した選手たちは嬉しいに違いないが心の底から「選手たちよありがよう」と言わずにいられなかった。

国体への取り組み

3年前、正確には5年前、国体の監督を任され、毎年4月には選抜選手の選考会で各校から推薦された選手の合宿を組み、その中から14名を選抜し、数回の合宿を行い、東北ブロック大会に臨んだが、壁が厚く国体には出場できなかった。殊に福島国体のメンバーで戦ったここ2年間は東北ブロック大会で敗戦続きだった。1・2年生だから仕方がないかと思う反面、このメンバーで果たして国体で1回戦突破できるのか、それは国体寸前まで悩み続けたことだった。

幸い県からの強化費が少しずつアップされ週5日程の通い練習と月に一度の計画的な合宿が組めるようになったが、内心、選手には申し訳ないがこの玉（選手）では、という考えを拭うことができなかった。

また、選手は選手で、まるで国体のためにだけ3年間を費やすのかというやりきれなさを持ち続けていたのではないかと今にして思う。現に国体寸前まで選手たちの燃え上がる闘志が感じられず監督として挫折しそうなときが何度もあった。

初心に返って

そんな状況の中で、この国体のメンバーを引き連れ、特にこの2年間は先輩、後輩の学校に限らず、大学そして実業団チームに教えを乞いに歩いた。こんな自分は初めての経験で大きく視野が広がったし、選手たちも少しずつだが力がついてきている実感を持てるようになった。自分は意地や誇りはもちろんのこと恥も外聞も捨て全国各地に教えを乞いに遠征することにより、これまでにない自分に気づいた。

玉（選手）さえ揃っていればいつでも勝つというおごりの気持ちが消えていった。これはすべて快く迎えて指導して下さった方々のおかげだと感謝している。

また国体で望外の戦果を得ることができた最大のものは何をさしおいても福島少年女子チームに力をさしのべてくれた全国各地のチームの監督の皆さんのお陰であると実感し、この紙面を借りてあらためて御礼申し上げたい。

私の指導法

自分は日頃、選手の指導に当たってこれだけでは身につけさせたいと思っていることがある。監督ならどなたでも言われることでしょうが、「選手の前に人間であれ」ということである。毎日の生活の中で起床時間を守り、掃除をやり、勉強はもちろんのこと気配りのできる人間になるように指導している。何ごともただやればいいというものではない。丁寧に、しかも素早く、人の身になってやることが大切である。それができないときには何度でもやり直しをさせる。生活も練習も同じである。シュートを外したら終りである。試合はやり直しがきかない。だから基本を徹底してやらせ、一つのチームとして気持ちを同じにし、友と共に、また監督も一緒に歩んでいくことが大切だと思う。それが内容のある勝ちにつながることでもある。

私も今度は転勤になるので、また新たな気持ちでチームづくりに励みたいと思う。

指導者の条件

結果を急がず、じっくり長くチームづくりに専念し、“我慢”のハンドボールを…

宮城県・涌谷高校　池田　加一

私のハンドボール体験

2月上旬上旬、(財)日本ハンドボール協会常務理事木野実様より、機関誌への原稿依頼がありました。何の実績もない私が、たいへん生意気とは思いましたが、私の仲間達や涌谷高校ハンドボール部に対し、ご支援をいただいた方々へ感謝の気持を表わす意味で、報告させていただくことにいたしました。

私がハンドボールと出会ったのは、清水市立商業高校に入学した時でした。父親の教育的指導もあり、兄弟（男3人）はハンドボールをすることが義務づけられていました。中でも、次男の鉄哉（清水商業→芝浦工大→三菱鉛筆ＫＫ→日本ビクターＫＫ）は、高校・大学はとても素晴らしいアドバイザーとして、現在も公私にわたり協力をしてもらっております。

さて、高校時代についてですが、監督は片瀬喜代次先生でした。独特のガラ声と、スケールの大きい思考力・行動力によって、より多くの体験をさせていただきました。特に昭和43年の春季合宿には、立教大（木野さん・野田さん・東さん）と練習試合ができたこと。また、我々の先輩には、2つ年上の望月雄司さん（中央大→駿河スポーツ）、1つ年上の佐藤要二さん（中央大→本田技研ＫＫ）、さらには立教大、芝浦工大と伝統ある大学へ進まれた諸先輩達……。

昭和43年、清水商業は東海4県のブロック大会で優勝しました。さらに福井国体（少年男子）でも、選抜方式を採用して初優勝。チームの特徴は、防御を主体とした速攻型で、身長も他見より低く、スタープレーヤーもいませんでした。いくつかの要因が加わって、優勝できたわけで、その原因とは、①練習時間がとても長い。平日4時間、土・日曜日5～7時間。屋外照明も完備されていたこと。②コーチ制の導入。専属コーチとして渡辺正さん（清商→芝浦工大）、三ツ井一広さん（清商ＯＢ）を抜擢したことから、新しい技術・体力強化練習が導入され、昔ながらのシゴキがなくなったこと。③強いチームと合宿ができたこと。立教大学と練習試合ができたことは、私にとっては一生の思い出になっています。

その後、日体大に進みましたが、特に得たものと言えば、どんな逆境にも耐えられる強い精神力を植えつけていただいたことだと思います。並行して、いろんな大会・合宿を日本ビクターチームと同行することにより、指導方法を学ぶことができました。兄はもちろんのこと奥さん（三三恵夫人）からは、選手の気持、試合の賭けひき、防御理論等、日常の会話の中で教えていただいたことは、女子のチームを育てる上で大変参考になりました。

23年前、涌谷高校ハンドボール部前監督、山崎金夫先生（山金）の人柄に誘われて、宮城県にやって来ました。ハンドボール部会はもちろんのこと、涌谷高校の職員からも、異色の人物に映ったのではないかと思います。現在では古川先生（高体連委員長）を初めとして、皆さんに親しくさせていただいておりますが、言葉（方言）を含め、慣れるのに年月が随分かかりました。

さて、涌谷高校ハンドボール部の練習内容についてですが、①練習時間は放課後60分くらい。②選手内で上下関係をつくらない。コート整備は上級生から、積極的に行なう。③質素、倹約であること。このチームは、全国選抜大会出場3回（優勝1回）、インターハイ出場31回、国体出場9回の戦績を残しており、オリンピック選手として2名（旧姓、加藤美起子、穂積美保子）を輩出している。精神面主体の速攻チーム。

以上、選手として、指導者としての経験を述べました。勝つための条件として、両校に共通している点は、実業団チーム、大学チームとの交流があること。選手を送り出すことで、新しい技術・練習方法が入手できる。この点については、金銭的（遠征費）に問題はありますが、ぜひとも太いパイプラインをつくって下さい。

結論。ハンドボール未経験の生徒を、高校2年間だけで育てることは容易ではありません。さらに、公立高校になると、特別推薦（授業料免除）などでの選手獲得は考えられない現状です。残された方法は、年数がかかりますが、育成する選手対象を下げるしかないと思います。中学生・小学生にマトをしぼり（入学してくれると、期待してはいけないが……）底辺強化・指導することが、全国制覇への最短距離ではないかと信じています。結果を急がず、じっくり、長く続くチームづくりに専念して下さい。心身ともに優秀な選手育成を期待しています。

◈ ◈ ◈ ◈ ◈

平成7年 コーチ・レフェリーシンポジューム報告①

笹倉清則

平成8年3月8日～10日、東京・代々木国立オリンピック記念青少年総合センターにてコーチレフェリーシンポジュームが開催された。コーチとレフェリーが一堂に会してシンポジュームであることから、参加者は125名にも昇った。

内容も国内外からの講師を迎えて、コーチ・レフェリー共に貴重な講義をしていただいた。シンポジュームでの講師と講義内容は下記の通りである。

	時刻	8日(FRI)	9日(SAT)	10日(SUN)
午前	9:00～10:00		前男子ナショナルチーム監督 蒲生晴明 —ナショナルチームに携って—	女子ナショナルチーム監督 樫塚　正一 —ハンドボールの戦術—
	10:10～12:10		IHF/CCM委員 アラン　ルンド コーチとレフェリーの共同、 試合中のレフェリーの行動	IHF/CCM委員 アラン　ルンド 新ルールと技術・戦術 試合中のレフェリーの行動 （討論）
午後	13:00～15:00	指導委員長・大西武三 日本における指導者の役割 強化委員長　野田清 日本の強化体制を考える 国際審判員・後藤登 IHFのレフェリング指導と 日本人国際審判員の達成度	審判委員長・大塚文雄 コーチとレフェリーの共同 —日本の方向性について— IHF/CCM委員アラン　ルンド 世界のハンドボールの技術・ 戦術的傾向 （討論）	
	15:10～17:00	レフェリングに関する討論会 レフェリングとコーチのトラブルの原因分析 ルール研究委員・江成元伸	IHF/CCM委員 アラン　ルンド 小学生から大人までの一貫指導 （討論）	
夜間	19:00	ナショナルチーム監督 オレ・オルソン ナショナルチームの指導と方向性		

熱心に聞きいる受講生

アラン・ルンド氏

今回のシンポジュームではIF／CCMメンバーのアラン・ルンド氏に来日していただき、3日間のうち4講義を担当してもらうことになった。彼が手がけたトップレフェリーとトッププレイヤーに関する研究の資料や、彼のクラブチームの年齢に応じた練習プランなどを紹介していただき、また今年8月からのルール改正に伴う現在までの審議事項や決定事項を詳細にわたって説明を受けることができた。

特にルールや世界のハンドボールの傾向については参加者からいくつかの質問が飛び出し、白熱した講義となった。

また、前ナショナル監督の蒲生氏、現ナショナル監督のオルソン氏から今後のナショナルチームの動向も報告された。

例年以上の参加者が集まり、また昨年6月にエジプト・カイロで行われたコーチ・レフェリーシンポジュームでの資料を前回の93年同様、日本語訳したものを今回のシンポジュームの資料として使用することができたことからも、かなりハードなスケジュールではあったが、参加者は充実した3日間を過ごすことができ、満足した様子で無事閉会することができた。

（それぞれの講義内容については次号から連載の予定）

販売

今回のシンポジュームで資料として配布し、アラン・ルンド氏が講義で使用して大変評価してくださった1995年コーチレフェリーシンポジュームの日本語訳および研究版（1995年コーチレフェリーシンポジュームでの資料を基にコーチ部門は日本ハンドボール協会指導委員会が研究、ルール部門は審判委員会が訳を担当した合作）「WORLD HANDBALL 1995」を販売いたします。住所、氏名、電話番号、冊数を明記の上、日本ハンドボール協会まで現金書留でお申し込みください。

・「WORLD HANDBALL 1995」A4判　155頁　2000円

・送料　500円（ただし、3冊以上の場合、送料1000円いただきます）

［申し込み先］

〒150-50 渋谷区神南1-1-1　岸記念体育会館内

日本ハンドボール協会　☎03-3481-2361

［問い合わせ］

日本女子体育大学球技第3研究室

笹倉清則　☎03-3300-3304

参加者の感想文から

「参加出来て大変幸せでした。今後の活動に役立て、日本ハンドボールの発展に少しでも役立てばと思いました。」

「コーチ側とレフェリー側に分かれディスカッションし、意志統一をする時間がほしかった。」

「大塚委員長の"コーチも審判の育成に配慮を"という言葉とアラン・ルンド氏の"審判もミスは必ずする。しかしそれは選手のミスより少ない"という言葉は新鮮だった。審判はミスは許されないということが今まで支配的であって客観的な議論がしにくかったが、改善するきっかけになると思った。」

「ルンド氏の"小学生からの一貫指導"はこれからの日本ハンドボールのためすぐに始めなければならない。」

「戦術面で具体的な内容が聞けるとよかった。」

「ルンド氏から世界の動向・情報が聞かれ有意義だった。」

「ナショナルチームの方向性がわかったが全国的に広報する必要がある。」

「この会を毎年実施されればコーチ、レフェリーが共通の認識を深められる。」

「参加者を巻き込むパネルディスカッションが企画されてもいい。」

「ハンドボールの流れ、進むべき方向が少し理解できた。」

「世界選手権大会などのゲーム分析等、いつも知ることの出来ないことが知れて楽しく参加出来た。」

「オルソン氏、ルンド氏の講義は建設的で聞いていて次のコーチングへの勇気がわいてくる。次回もCCM／IHFレベルの講師を期待する。」

「通訳が大変的確だった。」

「樫塚女子チーム監督に可能性を感じた。」

「IHF発行の本が半年後に発刊され快挙といえる。スタッフのご努力に敬意と感謝申し上げる。」

「実業団、日本リーグ、A級レフェリーの中でも参加していない人が多いのは納得いかない。これでは世界の流れに乗り遅れます。」

「現場の人の指導論も聞きたかった。」

「"負けても笑ってハンドボールの話をできる"ような指導を心がけたいと実感でき、有意義なシンポジュームでした。」

「講義ばかりでなく実技をおりまぜていただければよかったと思う。」

「頂点レベルの向上と同時に底辺の拡大に重点をおくことに期待しています。」

平成8年度スポーツ医科学委員会の現況

スポーツ医科学委員会　西山逸成

「スポーツ医科学研究」と「メディカルサポート」に区分して計画実施する。

1、スポーツ医科学研究

(1)スポーツ医科学委員会の機能図・委員等(添付)

(2)研究項目

①体力測定・メディカルチェック及び個人別トレーニング処方

②コンディショニング・ハンドブックの配布・活用

③体力づくりのための栄養管理

④乳酸濃度とトレーニング効果

⑤メンタルマネジメント(心理)

2、トレーナー・ドクターの帯同の基本的考え方

①NA男・女チーム別(含B、Jr.)に担当ドクター・トレーナーをある程度区分し海外競技会の帯同基準とする。

②国内合宿・大会等のドクター・トレーナーの帯同については地域別担任をNA男女種別区分にこだわらずメディカルサポートの基準とする。

3、メディカルサポートの行動基準

①海外競技会帯同のドクター・トレーナーは直前合宿に参加し派遣選手・役員のメディカルチェック(ヘルスチェック)を実施し、所要の処置を行う。

平成8年度スポーツ医科学研究計画

	ドクター群(調整担当　河野卓也)	トレニングドクター(調整担当　坂本静男)
NA男	(主)加藤　公(整形外科　鈴鹿回生総合病院)	田中　守 斎藤慎太郎 トレーナー群
	河野卓也(整形外科　横須賀共済病院)	
	大庭英雄(整形外科　相模原協同病院)	
	坂本静男(内　科　順天堂浦安病院)	
	岡本　健(整形外科　濱脇病院)	
	山崎哲也(整形外科　横浜市港湾病院)	
NA女	坂田武志(整形外科　信原病院)	阿部徳之助 森田　俊介 トレーナー群
	(主)沖本信和(整形外科　産業医科大病院)	
	北岡克彦(整形外科　金沢大学医学部)	
	伊藤喜久(内　科　自治医大病院)	

地　域	調　整　担　当	全般調整
東　北	北岡克彦　(金沢医大病院)	(主担任)　濱脇純一 男女、ドクター群 (整形外科)　河野卓也 女子トレーナー群 (内　科)　坂本静男
関　東	河野卓也　(横須賀共済病院) 坂本静男　(順天堂大浦安病院)	
近畿・東海	加藤　公　(鈴鹿回生総合病院)	
中・四　国	岡本　健　(濱脇病院)	
九　州	坂口　満　(熊本整形外科病院) 沖本信和　(産業医科大病院) 生田拓也　(熊本整形外科病院) 小林靖幸　(西日本病院)	

②関係ドクター群からのコンディショニング依頼を入手確認を行うとともに同時帯同のトレーナー等と連携し、情報の交換や指示事項の伝達を行う。

③チームスタッフ(監督コーチ)から選手情報、要望事項の聴取を行う。

④大会・合宿にはドクターバックの管理を実施する。

⑤行動・宿泊・旅費に関する経費は直接チーム監督の所掌とする。

⑥全日本男女選手の参加する各種大会には積極的に観察・指導等に心掛ける。

体力測定・メディカルチェックの実施対象は、次のナショナルチームとする。

チーム	監　督	スタッフ	測定日時・場所
NA 男	オレ　オルソン	田口　隆　酒巻清治	平成8年4月・8月／東京
〃 B	松井幸嗣	高橋精一　松喜美夫	
〃 Jr	高橋精一	松井幸嗣　玉村健次	
〃 女	樫塚正一	西窪勝広	平成8年5月・12月／熊本
〃 B	水上　一	土井秀和	
〃 Jr	井上亮一	志賀良弘　平賀達也	

スポーツ医科学委員会の機能図

[委　員]
阿部徳之助(自治医大学)
板井　美浩(自治医大学)
田中　　守(福岡大学)
森田　俊介(山口大学)
濱脇　純一(濱脇病院)
河野　卓也(横須賀共済病院)
坂本　静男(順天堂浦安病院)
坂口　　満(熊本整形外科病院)
生田　拓也(熊本整形外科病院)
小林　靖幸(西日本病院)
沖本　信和(産業医科大学病院)
菊地敬一郎(中学校体育連盟)
本間俊三郎(高等学校体育連盟)
田口　　隆(全日本男子)
松井　幸嗣(全日本男子Ｂ)
高橋　精一(全日本男子Jr)
樫塚　正一(全日本女子)
井上　亮一(全日本女子Jr)

整形外科　31名
内　科　6名
トレーナー　14名

アトランタ・オリンピック組み合わせ決まる

7月に開催されるアトランタオリンピックの組み合わせが決定しました。まだ、男子のヨーロッパの代表が1チーム決定していませんが、男子12ケ国、女子8ケ国による厳しいメダル争いが予想されます。以下、男女の組分けと対戦を日程に従い紹介いたします。

【男子】◆Aグループ
A1 クロアチア
A2 スウェーデン
A3 ロシア
A4 スイス
A5 クウェート
A6 アメリカ

【男子】◆Bグループ
B1 フランス
B2 ドイツ
B3 エジプト
B4 未定（欧州代表）
B5 アルジェリア
B6 ブラジル

試合日程

	決勝戦	3・4位決定戦
男子 8月4日	15:30（ドーム）	13:30（ジョージア）
女子 8月3日	16:30（GWCC）	14:30（GWCC）

【女子】◆Aグループ
A1 ハンガリー
A2 デンマーク
A3 中国
A4 アメリカ

【女子】◆Bグループ
B1 韓国
B2 ノルウェー
B3 ドイツ
B4 アンゴラ

[男　子]

◆7月24日
10:00 ロシアークウェート（ジョージア）
12:00 フランスー（欧州代表）（ワールド）
14:30 コロアチアースイス（コングレス）
16:30 エジプトーアルジェリア（センター）
19:00 スウェーデンーアメリカ（オールG）
21:00 ドイツーブラジル（GWCC）

◆7月25日
10:00 クウェートークロアチア（GWCC）
12:00 アルジェリアーフランス（GWCC）
14:30 スイスースウェーデン（GWCC）
16:30 （欧州代表）ードイツ（GWCC）
19:00 ブラジルーエジプト（GWCC）
21:00 アメリカーロシア（GWCC）

◆7月27日
10:00 （欧州代表）ーアルジェリア（GWCC）
12:00 スイスークウェート（GWCC）
14:30 スウェーデンーロシア（GWCC）
16:30 ドイツーエジプト（GWCC）
19:00 クロアチアーアメリカ（GWCC）
21:00 フランスーブラジル（GWCC）

◆7月29日
10:00 フランスーエジプト（GWCC）
12:00 クウェートースウェーデン（GWCC）
14:30 アルジェリアードイツ（GWCC）
16:30 クロアチアーロシア（GWCC）
19:00 ブラジルー（欧州代表）（GWCC）
21:00 アメリカースイス（GWCC）

◆7月31日
10:00 エジプトー（欧州代表）（GWCC）
12:00 ロシアースイス（GWCC）
14:30 クロアチアースウェーデン（GWCC）
16:30 フランスードイツ（GWCC）
19:00 アルジェリアーブラジル（GWCC）
21:00 クウェートーアメリカ（GWCC）

◆8月2日
10:00 A4ーB4（7・8位決定戦）（GWCC）
12:00 A3ーB3（5・6位決定戦）（GWCC）
14:30 A1ーB2（準決勝戦）（GWCC）
16:30 B1ーA2（準決勝戦）（GWCC）
19:00 5Aー5B（9・10位決定戦）（GWCC）
21:00 6Aー6B（11・12位決定戦）（GWCC）

[女　子]

◆7月26日
10:00 ハンガリーー中国（GWCC）
12:00 ノルウェーーアンゴラ（GWCC）
14:30 デンマークーアメリカ（GWCC）
16:30 韓国ードイツ（GWCC）

◆7月28日
10:00 アンゴラー韓国（GWCC）
12:00 中国ーデンマーク（GWCC）
14:30 アメリカーハンガリー（GWCC）
16:30 ドイツーノルウェー（GWCC）

◆7月30日
10:00 ハンガリーーデンマーク（GWCC）
12:00 ドイツーアンゴラ（GWCC）
14:30 韓国ーノルウェー（GWCC）
16:30 中国ーアメリカ（GWCC）

◆8月1日
10:00 A4ーB4（3・4位決定戦）（GWCC）
12:00 A3ーB3（5・6位決定戦）（GWCC）
14:30 A1ーB2（準決勝戦）（GWCC）
16:30 B1ーA2（準決勝戦）（GWCC）

ドイツ研修報告5

ドイツが4大会ともベスト4に！ 台頭著しいスペインにも注目
―ヨーロッパカップにみる現在の勢力分布―

順天堂大学ハンドボール部監督　東根明人

毎日ドイツ語漬け

はじめに、今回の研修における大きなテーマの一つであるドイツ語研修についてですが、4か月間続いた総決算ともいうべき修了試験が、2月20日~22日の3日間で行われました。その内容は、文法、聞き取り、作文、独文解釈そして口頭試験の5項目でした。どれか一つでも60%以下があると不合格という、私にとってはこの上もなく厳しい条件が課せられた試験となりました。最終日の口頭試験を終えたときは、なんとも言えない安堵感を覚えました。そして、翌日「合格」の証明書を手にした時の感激は生涯忘れることはないでしょう。Leipzig大学（国立）の付属機関であるHerder-Institut（語学研究所）で、毎日6時間授業を受け、特に後半の2か月間は宿題や覚えることもかなりあり、家に帰ってもドイツ語漬けになるなど、ハンドボールどころではないような日々が続いていました。そんな経過があっただけに、余計嬉しかったのだと思います。研修も半年が過ぎ、いよいよこれから仕上げにかかろうという時だけに、次への大きな励みとなりました。

次に、先日読売新聞社の記者が、私の滞在先であるH.Gerschau氏を訪ねて来ました。オリンピック100周年を記念する特集を組むにあたり、DDRの昨今について取材に来たのです。私も同席し、なかなか興味深いことを聞くことが出来ました。たとえば、DDR時代は地域の特色を生かした選手発掘が可能であったり、定期的な強化トレーニングや指導者・方法論の組織化が確立されていたのに対して、統一してからは、せっかく育てた選手も大金を積まれて、そちらの方に行ってしまい、それに代わりロシアからの移籍がかなりの人数に上っている（2年間在留するとドイツ国籍が取得出来る）といったような内容でした。毎日一緒に居るため、あまり込み入った話は聞いていなかったこともあり、なかなか楽しい一時でした。

寂しいフランスの麻薬汚染

さて、寂しいニュースが入ってきました。フランス・スポーツ界に麻薬汚染が広がっているというのです。ハンドボール、サッカー、陸上など広範囲に渡っているといいます。ハンドボール界でもナショナルプレーヤーをはじめとし、6名ほどの名前が挙がっています。特にハンドボールは、先の世界選手権において初の世界チャンピオンになっただけにとても嘆かわしい限りです。フランスにおけるハンドボール人気が上昇している時期だけに、水を差すようなことにならなければよいのですが…。

最後に、ヨーロッパカップ（男子4大カップ）を通じて、ヨーロッパにおける現在の勢力分布に注目してみますと、ドイツが4大会ともベスト4にいるのを筆頭に、スペインの台頭が目を引きます。スペインは、チャンピオンリーグに2チームが進出している他、（前年度優勝国のためチーム出場）EHFカップでもベスト4に進出しています。今春ヨーロッパ選手権が開かれることも手伝い、益々活気に溢れてくるのではないでしょうか。これでもし、あと一枚残されているアトランタへのチケットを手に入れたりしたならば、その勢いに更に拍車がかかるのでは…。スーパーカップの時と比較し、どの程度成長しているかじっくりと観察出来る訳で、今から5月末のヨーロッパ選手権を楽しみにしています。

いずれにせよ、ドイツBundesligaに各国の主力が集まり、ハイレベルの試合が展開されていることは明らかです。更に、1月に決定した「EU各国に対する外国人枠撤廃」が加わると、今以上に有力選手がBundesligaに集中する可能性があります。確かにBundesliga自体は活況を帯びてくるでしょうが、それにより周辺各国の国内リーグにおけるレベル低下を招く恐れもあるわけです。この辺りのバランスをいかに調整するかが、今後の課題となってくることでしょう。

平成8年度 審判委員会通達

(財)日本ハンドボール協会　審判委員会

1 カラー審判着の着用について

①対戦チームのユニフォームと区別がつけば、カラー審判着を着用しても差し支えない。

②短パン、ストッキング、シューズについては黒色の物を使用する。

③ハンドボール競技の審判着は黒色の審判着が基本である。

④各大会に於て審判着を指定することができる。

＊次のものは審判着として認めない。

ペアレフェリーが同色・同一のデザインのものを着用していても、それがTシャツであったり、ポロシャツ等の場合は、審判着として認めない。

2 コルセット・プロテクターの着用について

腰部を保護するために着用するコルセットは、競技規則4の7に従いユニフォームの下に着用しなければならない。

また、膝や肘を保護するためのプロテクター等は、プレイヤーに危害を及ぼすものを身につけてはならない。金属を使用している場合は、スポンジでカバーする等の安全が保証されるものでなければならない。

これらの用件を満たさないプレイヤーは、それらを正すまで、競技に出場することは認められない（4の7）。

3 ベンチでのメガホン使用について

平成8年度より、交代地域へのメガホンの持ち込み・使用は認めない。

4 競技規則の確認と徹底

すべてのプレイヤーは、競技規則4の4に従って、自分のチームの交代ラインを越えて、コートに出入りしなければならない。

退場となったプレイヤーもこの規則に従わなければならない。これはタイムアウト中にも適用される。

この規則に違反したプレイヤーは、4の5に従って「不正交代」として罰せられる。

5 審判登録済証の添付場所の統一について

審判員審査の便宜を図るため、平成8年度より審判登録済証の添付場所を審判手帳の公認審判員証の前頁（左図参照）に統一いたします。

登録第　　　　号

公認審判員証

写真貼付欄

氏名

所属都道府県名

上記のものは日本ハンドボール協会公認審判員であることを証する。

平成　　年　　月　　日

	取得年月日	印
D	年　月　日	
C	年　月　日	
B	年　月　日	
A	年　月　日	

(財)日本ハンドボール協会　日本ハンドボール協会之印

平成　・　年度　登録済証

平成　・　年度　登録済証

平成　・　年度　登録済証

平成7年度 優秀レフェリー

村瀬清史・大橋幹正(北海道)
江成元伸(東京)
阿部羅大造・浜野大助(石川)
家永昌樹(大阪)
原井　進・角　直樹(山口)

※審判の資格を取るのはどうすれば良いのですか……?

　高校をまた大学を卒業したあなた！ 今度はクラブチームでハンドを楽しみながらレフェリーの道を目指して下さい。それから実業団チーム、日本リーグのチームでプレーヤーから引退したあなた！
　あなたのハンドのセンスをレフェリーに生かして下さい。

※審判の資格には、国際審判員・A級・B級・C級・D級とあります。各級審判員はどんな大会の審判が出来るのでしょう?

A級　国内で行なわれる国際競技を含むすべての競技
B級　国際競技以外のすべての競技
C級　ブロック大会・各都道府県大会の競技
D級　各都道府県大会の競技

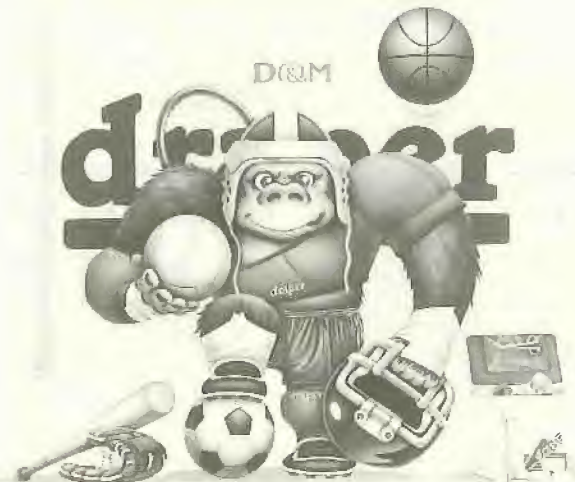
となっています。
　とりあえず、4月にOBになったあなた！「すぐにD級を取得し中学の、高校の春の大会の審判をカラー審判着を着てやってみよう。

※D級審判員の資格を取るには……?

　D級は都道府県ハンドボール協会の審判長へ申請すれば直ちに資格が与えられます。審判長が誰だかわかりません。? あなたはそれでハンドをやっていたのですか?
　それではどこのチームの監督の先生でいいですから、すぐに聞いて手続きをしよう。

※国際審判員は

　あなた、気が早いですね！ 国際審判員はあなたの県だけではなく、あなたのブロックいや、全国にあのレフェリーは素晴らしい！
　と、あなたの評判が高まってきたら、自然にブロック審判長が推薦してくれます。そしてアジア連盟でテストを受け合格すれば、はれて国際審判員です。ただし、英語・ドイツ語・フランス語のどれかが、ペラペラでないと合格はしません。キビシィ……！ ペーパーテストもあるんだよ！ 日本語ならペラペラなんだけど……！
　公認審判員のことについては、ルールブックと競技規則必携の中の　日本ハンドボール協会公認審判員規定のところをお読み下さい。
　ルールブックと競技規則必携(平成7・8年度版)をお持ちでない方は日本ハンドボール協会へ

ルールブック……1000円
競技規則必携……1500円
(平成7・8年度版)

メディア対策に知恵出そう

企画・広報委員　**早川文司**

成人式を迎えた日本リーグだったが、喜びとは裏腹に、メディアの取り上げは尻すぼみだった。NHKでさえもめったにお目に掛かれないありさま。新聞にいたっては隅っこにスコアだけがほとんど。これでは関心のある人以外はほとんど見落としてしまうだろう。寂しいというよりは情けなさが先に立つ。

現代はスポーツはんらん時代。しかも、世界のニュースが瞬時に伝わる。国内だけでなくファンの目は世界に向いているといってもいいだろう。当然メディアはその点に敏感だ。人気のない競技は隅っこに追いやられてしまう。

世界選手権でも好成績が得られず、男女ともアトランタ・オリンピック出場を逃している。これでは人気は出ない。会場に足を運ぶ人は少ない。世間にアピールする材料がないからだ。

期待したいのは、初の外国人・オルソン監督が率いる全日本男子。熊本での世界選手権へ向けて快進撃を続ければ、次第にファンの関心が高まってくるだろう。それには選手ひとりひとりが今まで以上に努力する自覚が必要であり、協会のバックアップも大切だ。

とにかく、この男子を起爆剤にハンドボール人気を盛り上げる対策を立てるべきだと思う。

見て面白い、楽しい、また来たい一こういった流れにしなくてはなるまい。激しく、熱い、内容の濃い戦いが目の前に展開されれば観衆は集まってくるはずだ。

そして世界の舞台に登場、活躍すればさらに人気が高まり、メディアも競って取り上げるだろう。放っておけないはずだ。

身内だけの満足では、ますます会場は閑古鳥が鳴き続ける。すべての関係者が改めて対策を真剣に見直したい。現場とフロントが声を掛け合って強化にあたり、世界を目指して頑張る姿勢を表に出してこそ、メディアも目を向けてくれるはずだ。

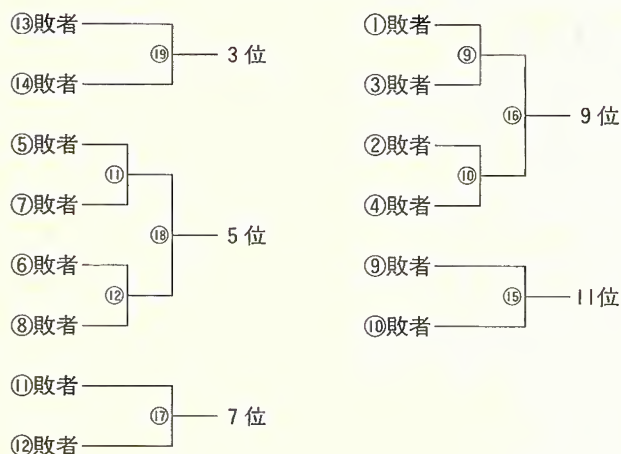
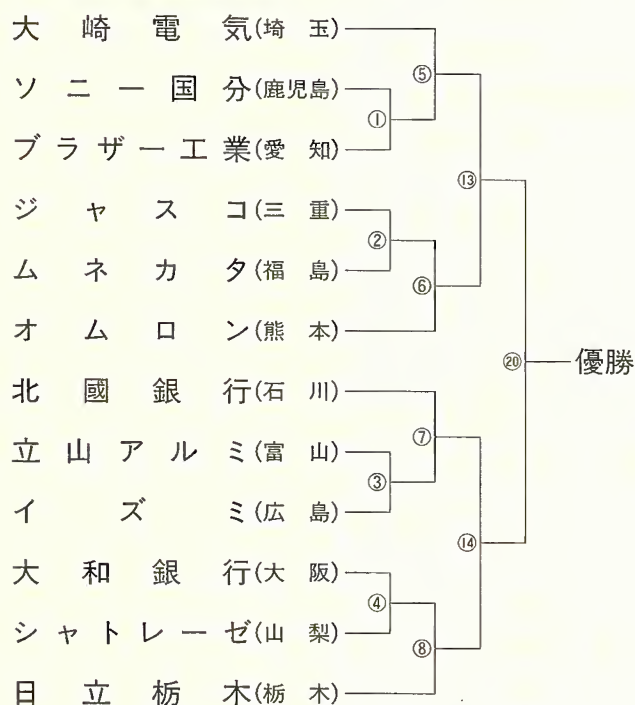
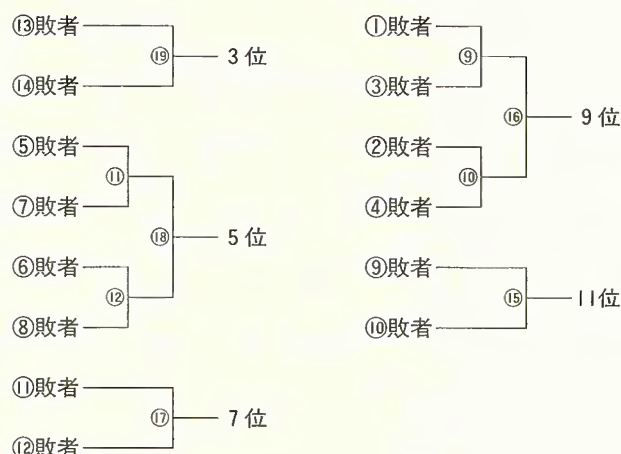
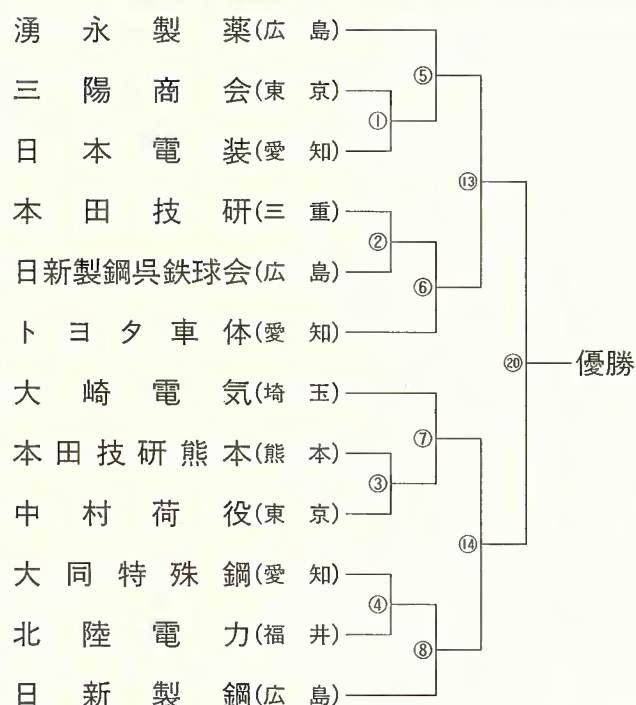
フリースロー
Free Throw

第37回 全日本実業団選手権大会 組み合わせ決まる

高松宮杯第37回全日本実業団選手権大会が5月1日(水)～4日(土)まで4日間にわたり、熊本県立総合体育館、合志町総合体育館にて男子12チーム、女子12チームの間で熱戦が繰り広げられる。平成8年度新シーズンのビッグ大会、有力、有望選手が今年も各チームに入り、どんなプレーを披露するのか期待がかかる。

男子では湧永、本田、中村、日新、大同が並んでいて、トーナメントだけにどこのチームが波に乗り飛び出すか予断を許さない。女子は地力のある地元のオムロンが安定感がある。3月末のプレイオフで新人田村らが大活躍し勢いがある。これを追うのが補強し巻き返しをねらう大崎電気、北国銀行、イズミ、立山アルミも着々と力をつけていて得点力があるだけに初戦のイズミ戦は面白そう。シャトレーゼも李監督から平塚新監督になり心機一転ハツラツプレーが楽しみだ。ジャスコ、日立栃木、大和銀行も脚力があり早い展開に持ちこめば勝機がある。

〈会場〉	
	熊本県立総合体育館 熊本市上熊本1-9-28 ☎：096-356-1233
	合志町総合体育館 菊池郡合志町大字福原2522 ☎：096-248-5555

女子の部

男子の部

平成８年度第４回全日本ハンドボールマスターズ大会要項

1．趣　旨

本大会の過去3回の大会は、わが国のハンドボール界における指導者としての教職員が、これまでの努力を互いに讃え、親睦と友情を深めることを目的として行なわれてきたが、教職員のみに拘らず、一定の年齢以上のハンドボーラーが一堂に会し、広く生涯スポーツとして楽しみ、親睦と友情を深める機会とすることが、わが国のハンドボールのさらなる発展と普及を願った所期の目的に合致すると考え、開催するものである。

2．主　催

全日本教職員ハンドボール連盟

3．主　管

愛知県ハンドボール協会　豊田市ハンドボール協会

4．後　援

愛知県教育委員会　豊田市教育委員会（財）愛知県体育協会（財）豊田市体育協会　中日新聞社

5．期　日

平成8年7月19日（金）競技運営委員会及び開会式（午後7時より）

平成8年7月20日（土）～7月21日（日）（両日共9時スローオフ）

6．会　場

豊田市体育館

〒471 愛知県豊田市八幡町2－20

☎（代）0565－31－0451

7．試合方式

予選リーグ及び順位決定戦（参加チーム数により変更することがある）

8．試合時間

20分－10分－20分

9．参加資格

男女とも年齢制限を設ける。男子は40歳以上とし、チーム編成上、38歳以上の選手を2名まで含むことができる。女子は35歳を下限とする（個人の参加については、11.その他の項を参照して下さい）。

10．参加人員

①役員は、部長、監督、及び2名の競技運営委員とする。

②選手は1チーム16名までとする（役員は選手を兼ねることができる）。

③選手の背番号は、No.1～16の通し番号とする（ユニフォームについては、20. 備考の項を参照して下さい）。

④各チームは、チームを代表する責任者として部長（顧問）また監督を付き添いとすること。

11．申込方法

①申込締切日

平成8年6月15日（土）

②所定の用紙（申込様式1）に必要事項を記入し、大会事務局と連盟事務局（下記）へ簡易書留郵便あるいはFAXにて送付すること。

埼玉県北足立郡吹上町前砂907－1

県立吹上高等学校内　中野利一　宛

TEL：0485－48－5811　FAX：0485－47－1043

12．参加料

①1チーム4万円（参加記念品代を含む）をチーム名にて所定の銀行口座に振り込むこと。

②個人による申し込みの場合 1名につき4000円（記念品代を含む）

13．組合せ

代表者会議にて行う。

ハンドボール　COTENTS　5月号

(財)日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』　第三六三号
昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可
平成八年四月二十六日　印刷
平成八年五月一日　発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話　代表　三四八一ー二三六一
振替　〇〇一二〇ー七ー一〇二九三
編集兼発行人　中澤重夫
定価三五〇円